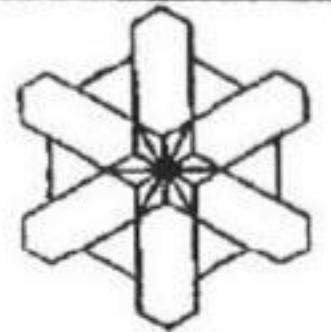


折紙探偵団新聞

ミニコンで
遅れてごめん
31号

折紙研究ノート (1)



最も簡単な

[B₁ P₁] 型雪華

一折紙の進化：オリガミ・ツリーと
生物の系統分類学・進化学—

鈴木邦雄

この連載を大よそ次のように計画しています。初め2回は一般論、残り4回は雪華をモチーフとする私の幾何折紙をめぐる取組みについての私見を述べます。次回以降の予定：(2)折紙のモチーフ：対象研究の重要性；(3)雪華：基本型とその多様な展開；(4)雪華：透かし折りと透かしパターン；(5)雪華：透かし折りと隠れたパターン；(6)雪華：多様なパターンと幾何学的パターンの普遍性*

折紙は、紙という素材に「折り」の操作を施して特定の造形パターン（紋様）を生み出すことに他なりません。芳賀和夫氏の提唱するオリガミクスは、造形作品を結果しませんが、作品に反映される折りの諸規則（あるいは造形要素）を生み出していると考えれば、それも上の定義に包含されます。芳賀氏の発見された多数の幾何学的規則性は、単独あるいは種々の組合せと変形を伴って折紙作品に反映されていますから。

折紙は、紙の2次元（平面）的諸特性（制約）を踏まえ、折るという操作で3次元（定義次第ではより高次元）の造形を生み出す芸術です。

大橋皓也氏のオリガミ・ツリー（1977、『創作おりがみ』美術出版社）は、ある基本型からの展開、つまり作品と折りの操作の間の時間軸に沿った対応づけの試みと言えます。私は、発生学、系統分類学、進化学などで用いられている多くの術語が折紙作品の分類や整理、さらに制作過程の記述にとっても便利で有効であると気づきました。

以下、「」付きの生物学の述語は、特に断らなくても「折紙における」という前提で用います。まず例

として「個体発生」をとりあげましょう。この語は、生物個体の誕生から死までの全過程を指します。そこで、「紙から一つの造形作品が完成するまでの全過程」を（折紙における）個体発生と呼ぼうというわけです。個体発生のさまざまな段階で、独特のパターンが生じます。「パターン（紋様あるいは形態）形成」と呼びます。折紙でも種々の折りの操作によって独特の造形パターンが生み出されるわけで、その過程をパターン形成と呼びたいのです。

「個体発生」は「系統発生」の対語です。系統発生とは種族の歴史のことで、樹形（「系統樹」）で表現されます。大橋氏の「ツリー」は正にこの系統樹を指しています。折紙では、基本型から多様な操作によって無限の造形が生み出されます。それは全ての生物種が特定の祖先型から進化してきたとする現代進化学の基本的見方と一致します。

基本型からの展開によって制作される一連の折紙作品は、ある「共通祖先」に源を持つ、樹木の枝のような一群を形成すると看做せます。このような群を「単系統群」と呼びます。基本型は単系統群の共通祖先に当たります。時間軸に沿ってより現在に近い群を「子孫群」と言います。祖先的—子孫的とは相対概念で、時間軸に沿って見た場合の話です。折

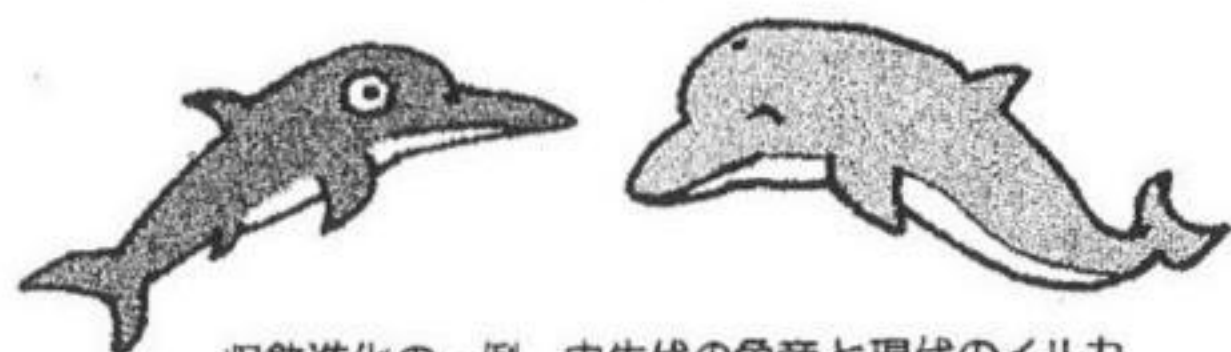
りの操作も連続的かつ不可逆の過程ですから、時間軸に沿って祖先的—子孫的、祖先型—子孫型（祖先—子孫関係）という区別が可能です。

基本型からの展開の方向が異なれば、当然別の単系統群が生じます。異なる単系統群で、部分的な類似が認められる場合があります。折紙では、ある特定の折りの操作を許す状況があれば、その結果として同じパターンが生じるわけです。そのような類似性は、生物の系統発生においてもしばしば見られます。類似の環境への適応の結果として、異なる系統に属する生物の体形や特定器官の形態が似てくる現象を「収斂（収斂進化）」と呼びます。

生物進化は歴史ですから、推論によって再構築されたもので、それが正しいかどうかは一義的には決められません。折紙の場合には、問題とする造形パターンが生じる過程を説明（再現）できるので、生物進化の場合よりもこの概念が有効です。

ある類似性が系統関係を反映した結果、つまり共通祖先に由来するのかが収斂の結果、つまり共通祖先には由来しないものか、判断に迷う場合が頻繁に生じます。近い系統間で類似の進化的変化が見られる現象を「並行（並行進化）」と呼びますが折紙でもある段階から異なる方向へ展開した群の間では、部分的に類似のパターンが普遍的に見られます。それこそ正に並行進化なわけです。

（つづく）



収斂進化の一例 中生代の魚竜と現代のイルカ
陸から海に帰った爬虫類と哺乳類である
折紙ではこのような題材をどう扱えばよいのだろうか

折紙辞典

折紙辞典編纂室編



主幹
前川淳

序

この辞典は、折り紙に関する言葉を正確な記述によって定義し、折り紙の学術的な基盤を確固たるものにするを目的とすると同時に、総合文化としての折り紙の意義を広く紅湖に知らしめることを意図して編集されている。21世紀を間近に控える今日、伝統文化と科学を架橋する折り紙の果たす役割は日増しに大きくなってきている。本辞典が世の折り紙愛好家のみならず、文化を愛するすべてのひとの座右の書となることを確信するゆえんである。わはは。辞書の序文でどいつもこいつも何でこうまで大言壮語なんだろう。失礼。思わず取り乱してしまった。…確信するゆえんである。なお、本辞典は山口真著「おりがみ事典」とは関係がない。

1995年4月1日 折紙辞典編纂室

凡例

品詞の種別：《名》＝名詞 《動》＝動く折り紙 《形》＝基本形
《表記》：表記に関する詳しい説明
《語源》：語源に関する出鱈目な説明
――：谷折り ―・―：山折り
―・―：これも山折り

あーお

えんげる【ENGEL】《人名》Peter Engel(Mr.) アメリカの代表的な折り紙作家。1994年の日本滞在中、京都、東京などで同道した岡村、前川、日詰(前川の知人)の3人が、それぞれ、カメラ、システム手帳、建築モデルを紛失した。彼に責任はないが、一緒にいると注意力が散漫になるという不思議な性質があるらしい。ちなみに紛失物はすべて回収された。一日のうちで折り紙に使う

時間をピーター・エンゲル係数といい、これが1時間を超えると要注意である。

おりお【ORIO】《固有名》(1)目黒俊幸氏作成の展開図作成プログラム。ビスケットの名前ではない。(2)静岡市の山口真氏宅で飼われている牡猫の名前。女性には愛想がいいが、男に対しては牙をむいて威嚇する。こんにゃくゼリーが好きで自分を猫だと思っていない。今度会ったら思い知らせてやるぞ。
おりがみ【折り紙・折紙・ORIGAMI】《名》科学会議や出版事業、展覧会、懇親会、忘年会、新年会、事ある毎の宴会、お寿司屋さん、お蕎麦屋さん、トンカツ屋さんなどに関係する文化。何だか美味しそうである。江戸時代の中期から後期に栄えたとされ、当時の資料の収集が盛んに行われている。♪ピンポン♪ここで、前号の訂正を申し上げます。「折紙博物誌-第2部」の記事中で、「欄間図式(高木智氏所有)」としたのは「欄間図式(国立国会図書館蔵、高木氏が欲しがっている)」の誤りでした。関係各位にご迷惑をおかけしました。お詫びして訂正します。♪ピンポン♪国内の関連団体として、日本折紙協会、折紙会館、国際折紙研究会、文京区、居酒屋-庄や(白山店)などがある。「探偵」にも関係があるらしいが、犯罪を匂わせる証拠はない。

《語源》語幹のORIGが、ORIGIN(起源)を起源としているという説、ORGANIC(有機的)と有機的に結びついているという説は、英和辞典を見て思いついた由緒正しい説である。手の込んだものでは、ORIがORIENT(東洋)を示し、GAMIがGAMEを表わすという説などもある。語尾のGAMIに関しては、IMAGEを右から読んだものであるとの説もあるが、考え過ぎであろう。ドイツ語Papierfaltensの翻訳語であるという説の可否については、「おりがみ庵・ひとりごと」を参照、もしくは講談社辞典編纂部に詳細を尋ねられたい。一夫多妻を表わす用語ポリガミー(Polygamy)に深く関わるこの説は某氏の関心をひいたが、某氏が誰であるかなどについては家庭争議のタネになることをはばかってここでは詳述しない。諸説ある中で

最も有力な説は、日本折紙協会発行の月刊誌「おりがみ」に由来するというものであるが、この説では機関誌の名前が何故「おりがみ」となったかを説明できない。研究の待たれるところである。

《表記》日本折紙協会などの団体では「折紙」とする場合が多いが、British Origami Society, Origami USAなどでは、いかなる理由か「Origami」としている。イギリス・アメリカなどで漢字の表示のできるワードプロセッサが一般的でないためと推測される。注目すべき資料「折紙博物誌」では、本文中の表記が「おりがみ」に統一されている。何か理由があったらいいが、著者もよく覚えていない。

・一つき【折り紙付き・折り紙憑き】《名》刀剣などに付いた鑑定書から、ものごとが保証されていることをいう。「折り紙憑き」とした場合、狐憑き・犬神憑き(いぬがみつ)などと同様に、折り紙に取り憑かれた状態を指す。後者の典型的なケースとして次のようなものがある。(1)折り図に向かってブツブツ文句を言う (2)折り方を教え始めると止まらなくなり深夜に及ぶ (3)カバンの中からおもむろに新作を出してニヤリと笑う (4)会社のパソコンを使って就業時間中に折り図を描く (5)優良会社の課長の座を捨てて「ギャラリーおりがみはうす」に就職する (6)「ギャラリーおりがみはうす」で伴侶に出逢って婚約する (7)例会に欠かさず出席してひたすら食べまくる (8)折り紙をネタにしたバカな文章を書き連ねる。

おりづる【折鶴】《名》(1)新宿・追分だんご本舗の菓子のひとつ。製造を中止したのか最近見かけない。パッケージを保存していなかったのが口惜しい。(2)中央競馬登録の馬名(出典：山口真)首が長い(馬はみんな首が長いという説も有力)羽はない。(3)骨折した鶴。シベリアに帰ることができるか心配だ。

おわび【お詫び】《名》一部不適当な表現、誤解を招く表現がありましたが、正しい記述も含まれておりますので、探りあててください。次回からはまともな内容とする所存です。

おわり【終わり】

「おりがみ」は翻訳語ではないー摺紙と折紙

明治9年に最初の公立幼稚園がお茶の水に開設された当時、フレーベルの保育法が輸入されたが、直接ドイツ語からの訳ではなくて、アメリカのA.Douai著『The Kindergarten』から「Gifts」を「恩物」、「paper-folding」を「摺紙」と初めて訳したのが関信三訳『幼稚園記』（明治9年）であったことは前々号で書いた。

その本には付録として添えられた『幼稚園案内』（ミス・ビーボデイ他著）の訳文中に、「織紙」には「ウキウキング」、「縫紙」には「ソウウキング」、そして「摺紙」には「フョールジグ」というルビが付けられているのであるが、このルビは読みではなくて原語を示したものであろう。これは「摺紙」が翻訳語であることを示している。

「摺紙」は公式には「しょうし」と音読したようだが、保育現場では「たたみがみ」と言っていた。間もなく「かみたたみ」という語もできたが、幼稚園関係ではその後もずっと「おりがみ」は用いず昭和になっても正式には「たたみがみ」であった。

しかし小学校の手工科の種目としては、その科目の加設された当初の明治20年代初めから専ら「折紙細工」か「折紙」を用いていたこともすでに書いてきた。

「摺紙（しょうし）」は漢語で、「折紙」は和語である。つまり中国人に見せて意味が自然に理解されるのは前者である。「摺」と「折」は全く別の字で、略字などというものではない。例えば「折鶴」という字を見た中国人は、鶴の首や羽をボキンと折り取るとは何事かと思うだろう。

【幕末の「折紙」の用例】

以前に「いせ辰」所蔵『折形手本忠臣蔵』（文政ごろ刊）の広告欄に「一部四方の折紙にて」という文があるが「一部四方」の意味がよく分からないと書いたことがあるが、この「一部」はミスで「一分」が正しく、ここでは1平方寸の面積を表し、「四方」は正方形の意味で「よほう」と読むことがだいぶ前にわかってい

たのでご報告したい。この「折紙」という言葉は鶴を折るための正方形の用紙の意味で、つまり現代と同じ意味で使用されていることが注目される。

実は、昨年末、大津の国際会議に出る数日前に、神田の古書市で私が偶然に購入できた2枚の木版色刷り

家がpaperfoldingのことを日本語ではORIGAMIというのだと思いこんでいる現状が続く限り、この種の誤解はなくなってもおかしくない。このことは我々も十分注意しなければいけないことだと思うのである。すこしづれるかも知れないが、そもそも日本の文化について研究しようとする人が、日本語を全く理解しないというのは変なことなのである。せめて私が英語を少し読める程度に、彼らが日本語を勉強すべきなのである。これは或るアメリカ人の日本文化研究家が当然のことと話していたことで、私の国粹主義的な偏見ではない。

【「折りもの」とも言った】

明治初期以来、幼稚園では「たたみがみ」、小学校では「おりがみ」と言っていたことは、以上の通りであるが、その他一般では何と言っていたかという点、幕末ごろから「折り方」と「折りもの」があった。前者は「折形」の誤用かどうか判別しがたい曖昧な例もあるが、男性語系の語であったと思う。それに対して「折りもの」は女性語系の語だったのではないか。折り紙が女性のものであった当時は「折りもの」が根強く大正から昭和の初めごろまでは使用されていたらしい。もっとも「織り物」との混同を避けるためか「紙おりもの」という場合もあった。

おりがみ庵

ひとりごと

岡村昌夫

第18回

の資料がある。その1枚に、上記の「いせ辰」蔵本のものと全く同じ広告欄があったのである。この資料の内容は忠臣蔵の人物折りだが、『折形手本忠臣蔵』とは全く別の、従来知られていなかったものである。

（いろいろと重要な意味を持っているので、機会があればご紹介したい。）早速大津へ持って行って、研究発表のとき実物投影機で大きく映し出して説明しようとしていたうちに時間切れになり、何のために見せたのか意図不明になってしまった。ただリスター氏と桃谷好英氏にはしっかりと見ていただいたので、もうリスター氏も「おりがみ」ということばが現代のような意味になるのは明治初年にフレーベルの恩物が輸入されたときドイツ語のpapierfaltenの訳語として使用されてから以後のことである、などという説を主張することはないだろう。しかし、英語の

「paperfolding」には日本語の「おりがみ」のように「折るための用紙」の意味は無いのに、あるいはまた多くの日本人が例えば「折り紙建築」をいわゆる「おりがみ」の中に入れていないのに、外国の折り紙研究

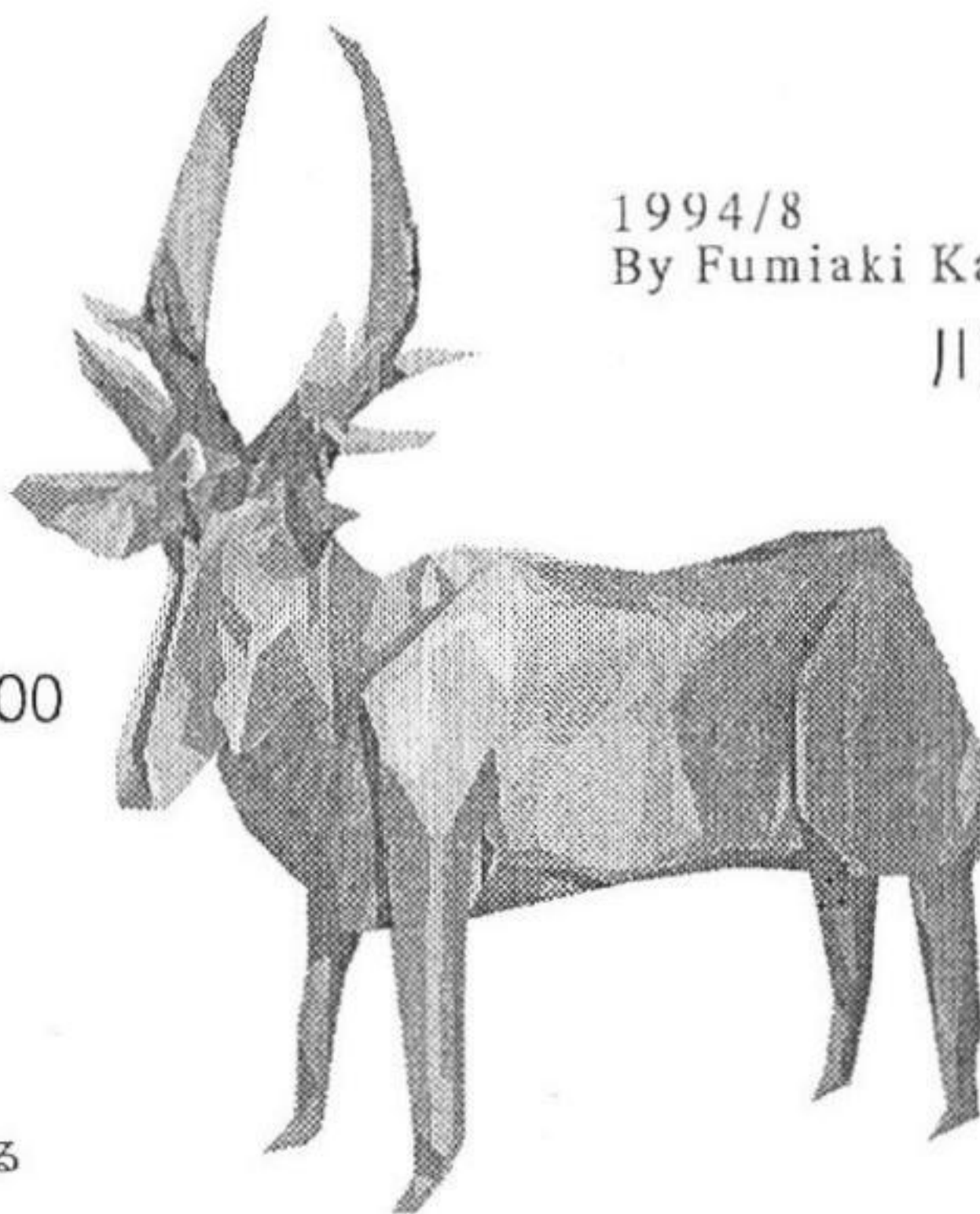


長編 3 回連載

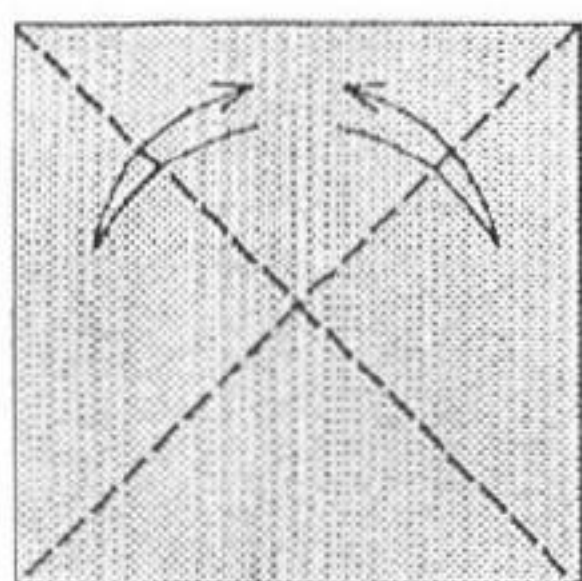
1994/8
By Fumiaki Kawahata

えぞしか

川畑文昭



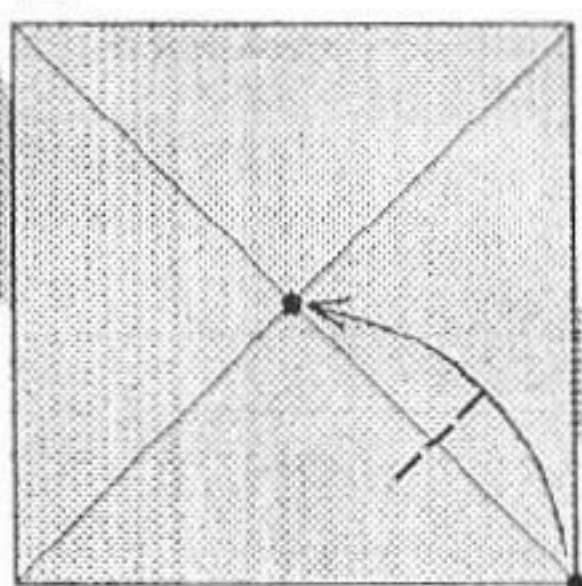
1



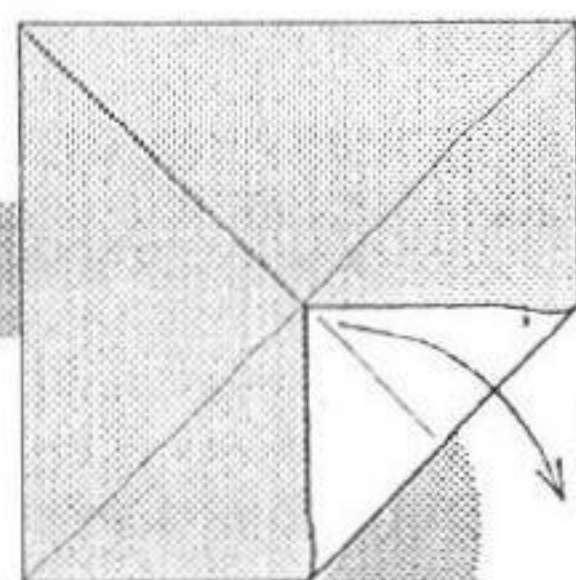
100

折り目をつける

2

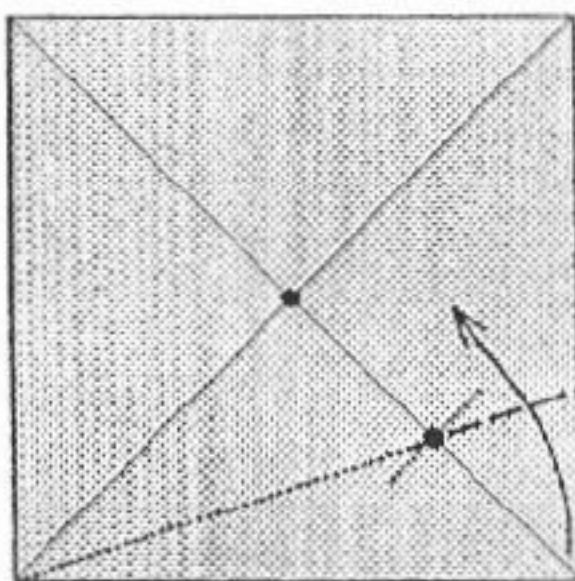


3

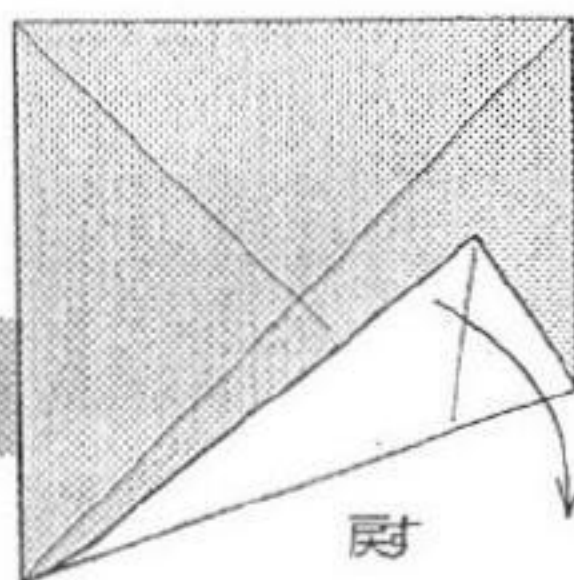


戻す

4

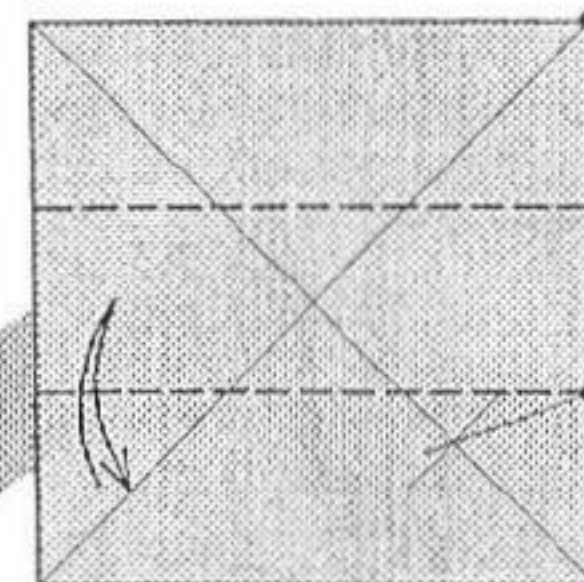


5

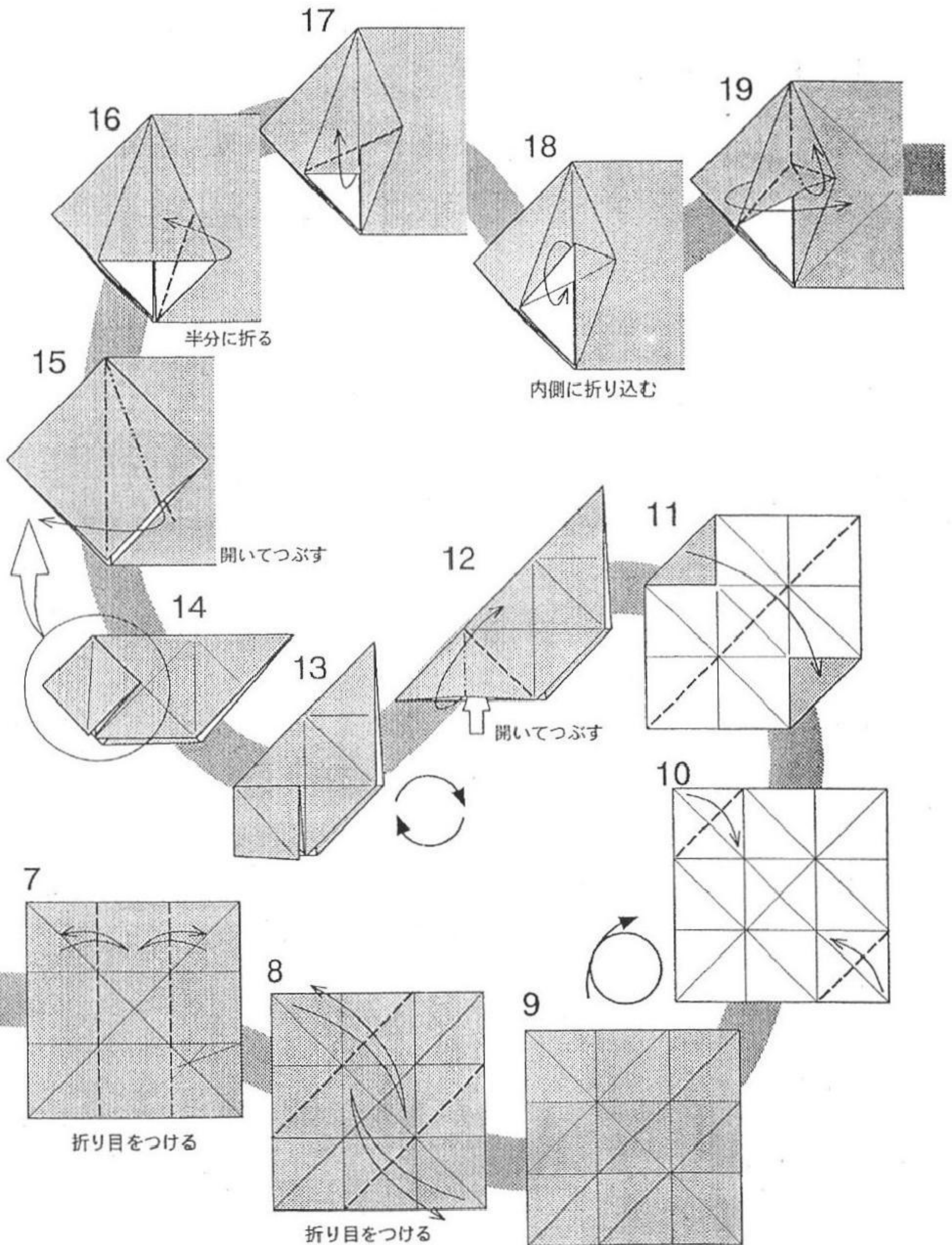


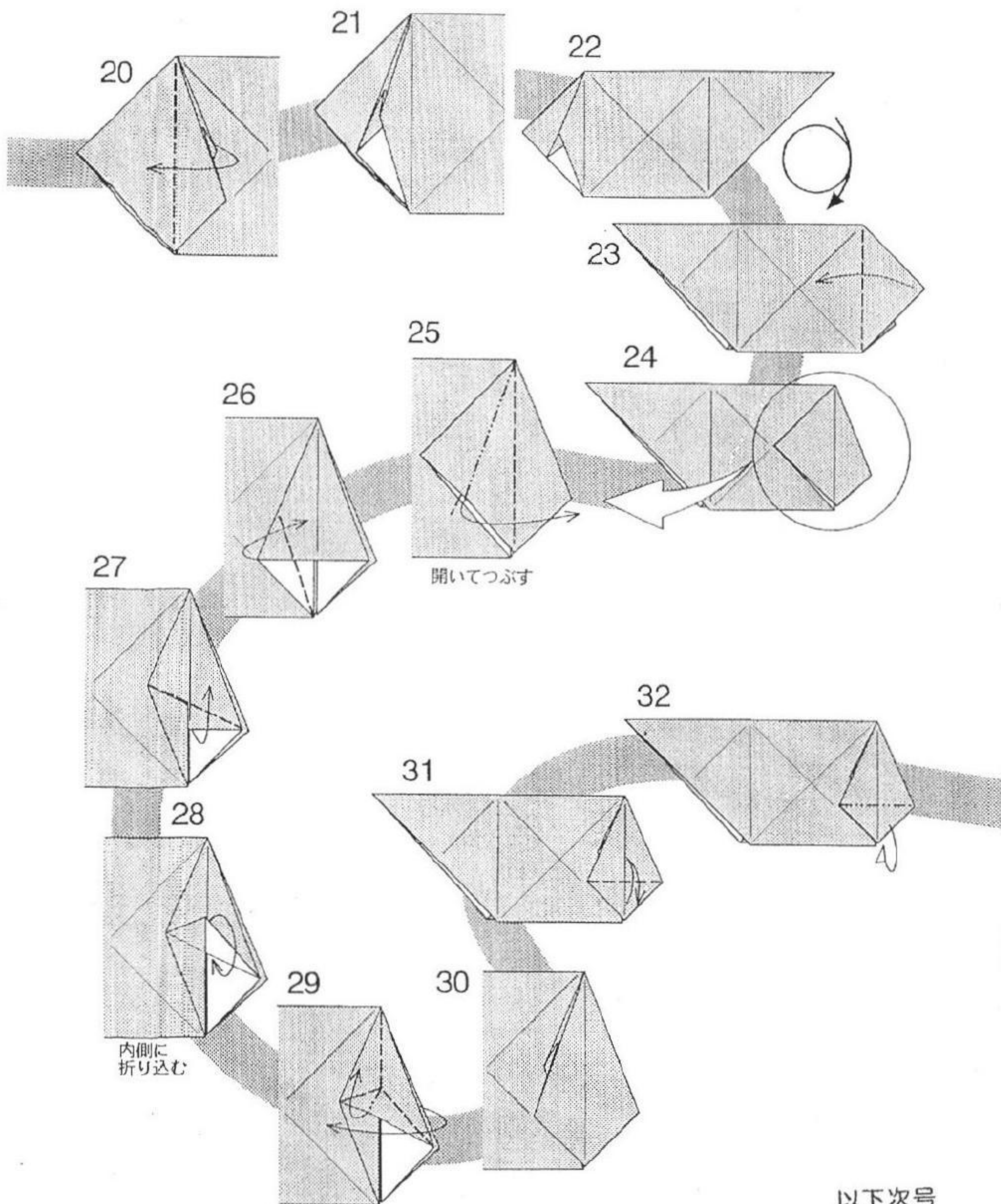
戻す

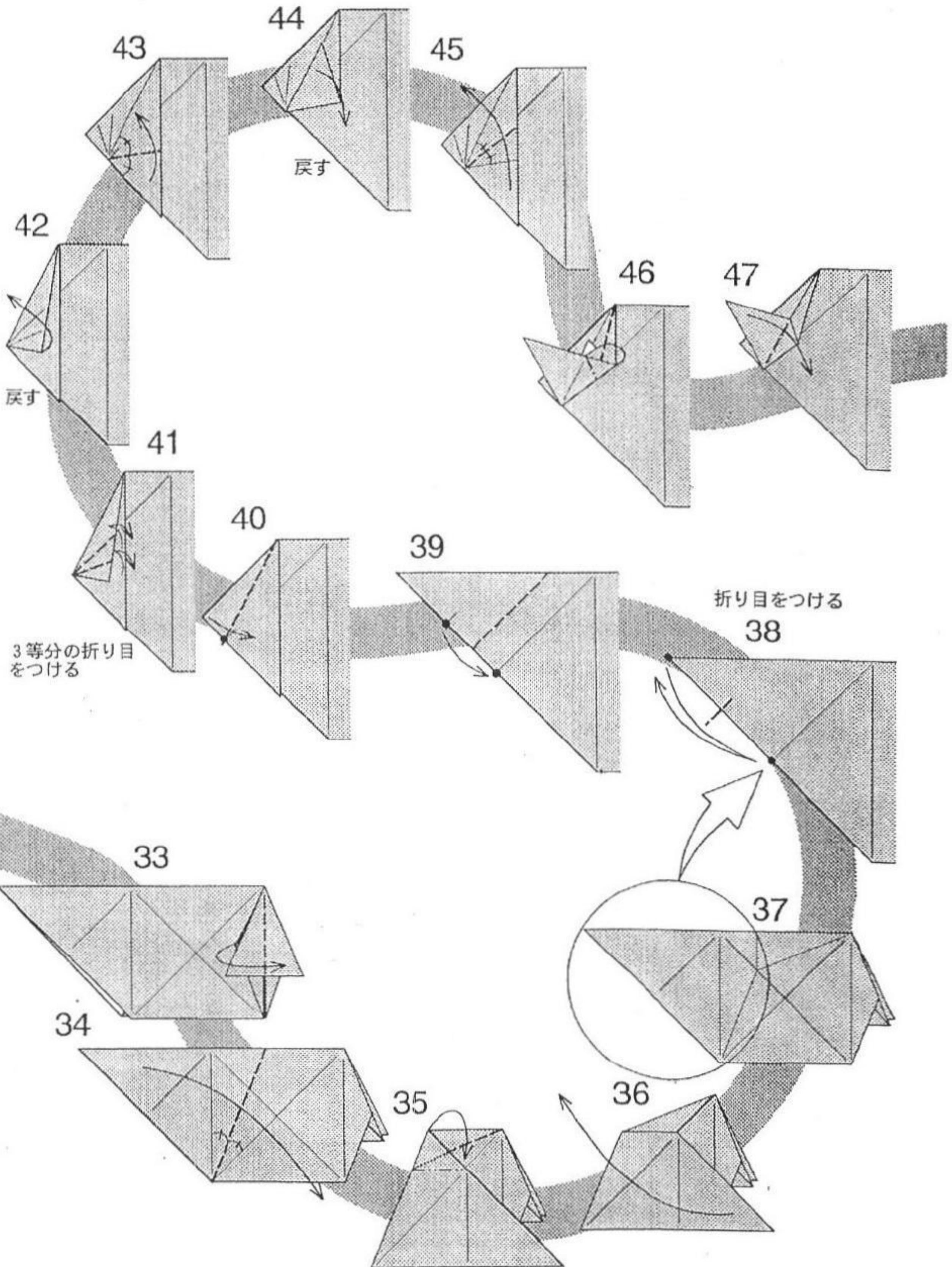
6



折り目をつける







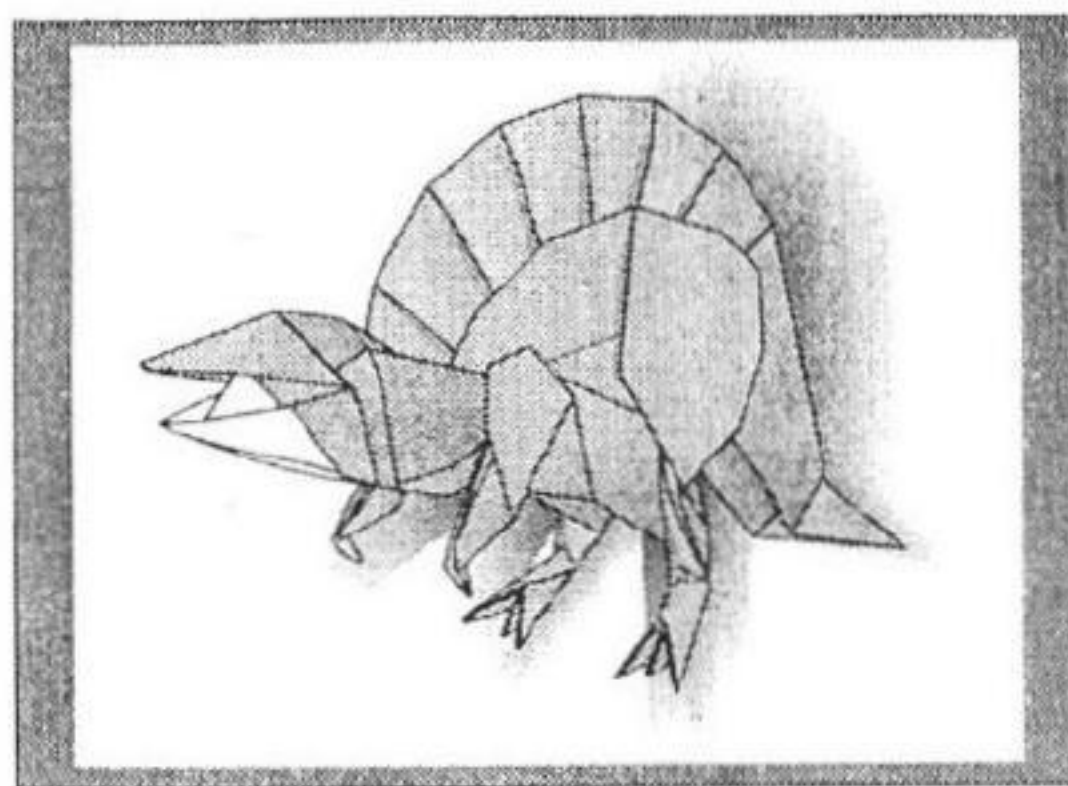
料理長のお褒め料理

スピノサウルス [後編]

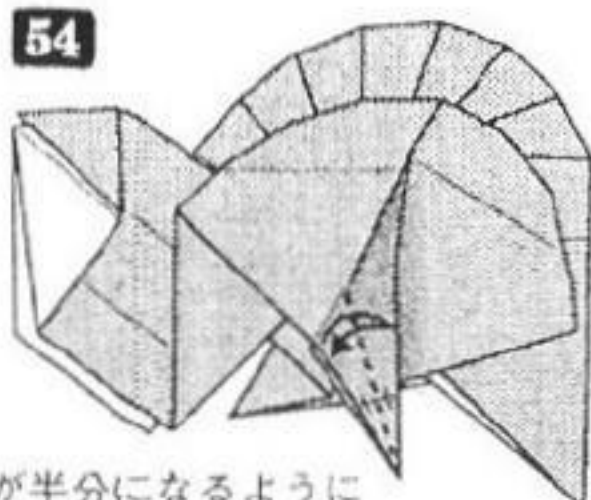
吉野 一生 制作 1993年11月1日
作図 1994年11月13日

Spinosaurus [part 2]

by Issei Yoshino Create 1-NOV-1993
Diagram 13-NOV-1994



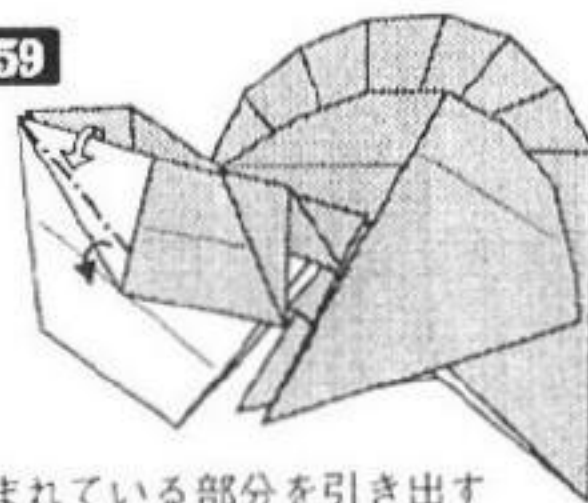
54



角が半分になるように
折り筋を付ける

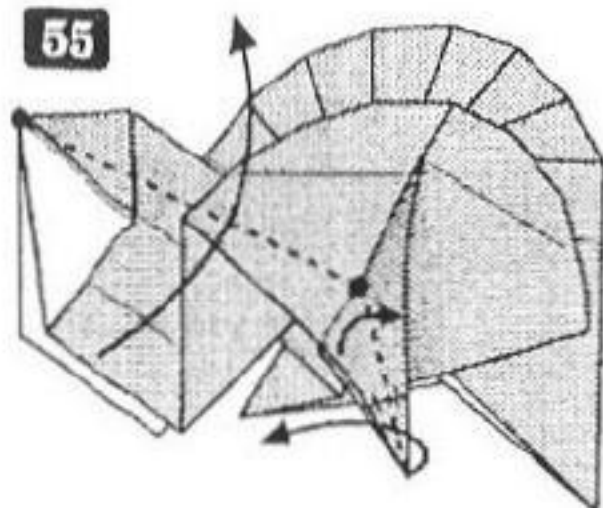
Make a crease in half.

59



折り込まれている部分を引き出す
Pull out the overlapping layer.

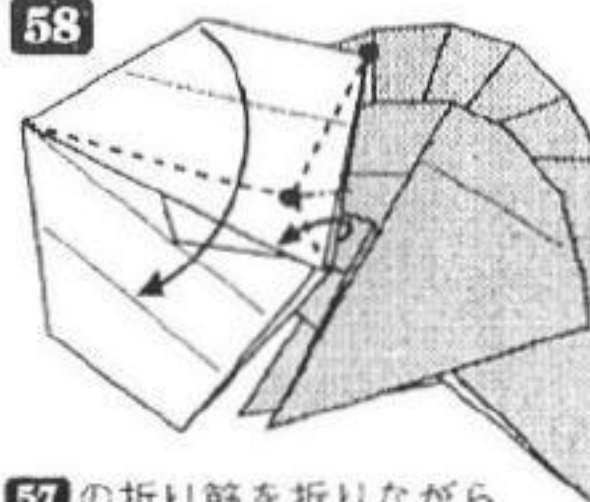
55



54で付けた折り筋を折り
ながら●印の間を折り上げる

Fold the crease from 29 to go
through point (●).

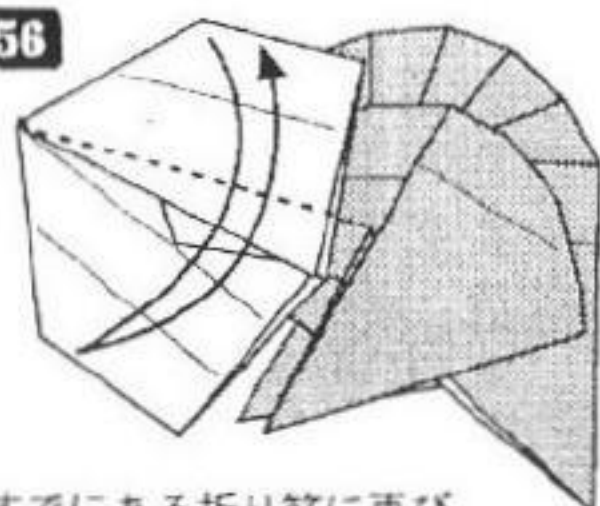
58



56 57の折り筋を折りながら
●印の間を折って閉じる

Fold the existing crease from steps
56,57 and marked (●) line.

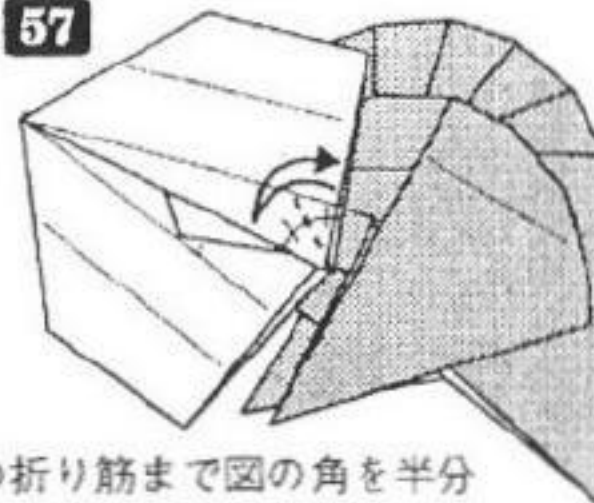
56



すでにある折り筋に再び
しっかり折り筋を付ける

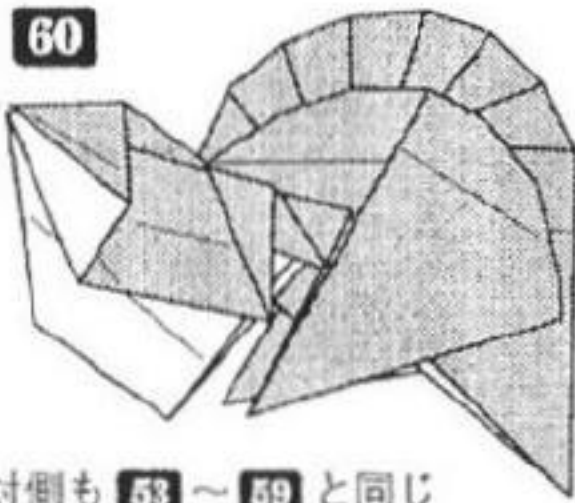
Make a crease tightly on the
existing crease.

57



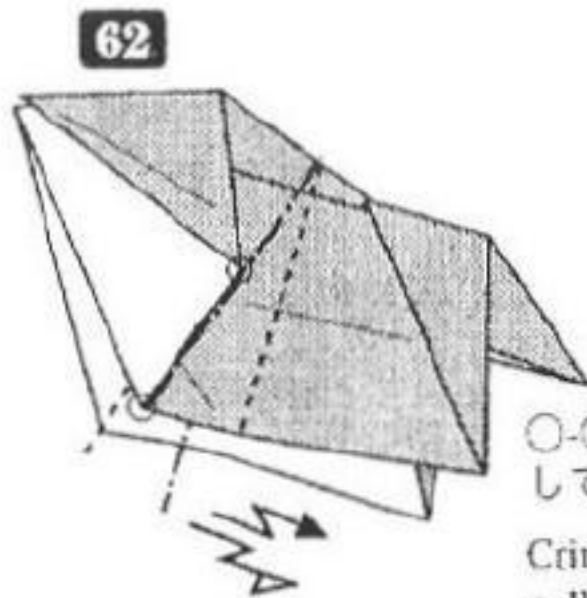
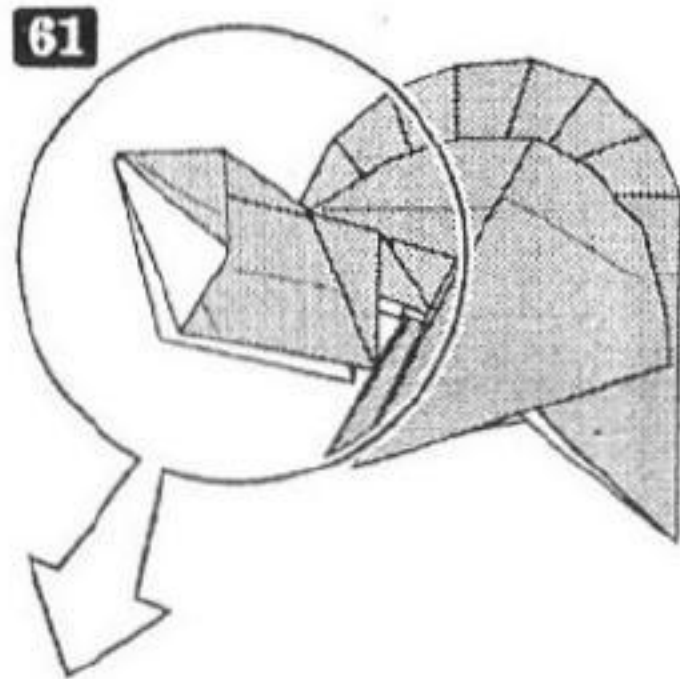
56の折り筋まで図の角を半分
に折り、折り筋を付ける

Fold and unfold the corner in half till
crease from step 56.

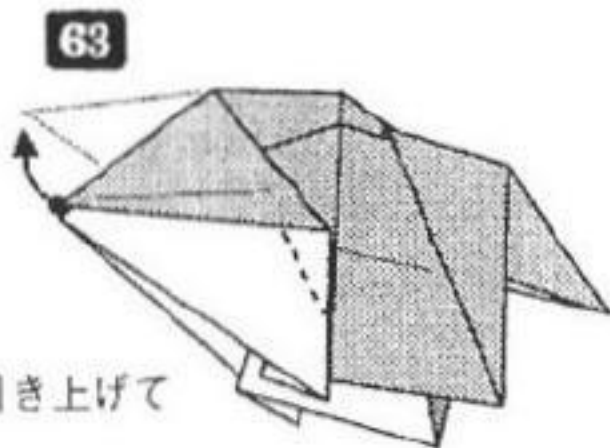


反対側も 53 ~ 59 と同じに折る

Repeat behind steps 53 - 59.

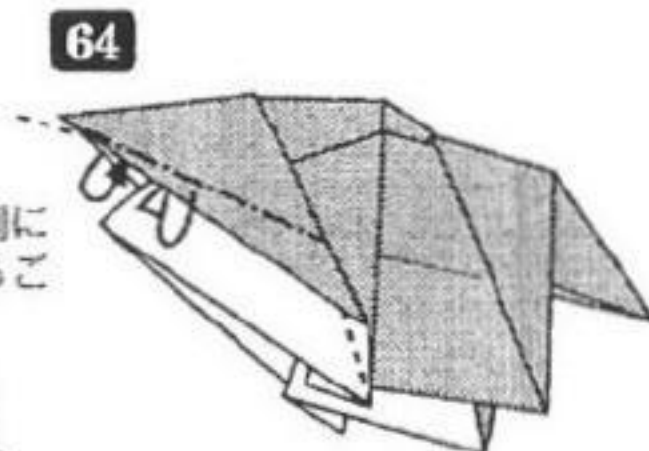


○-○間の辺を基準に段折りして頭を下に傾ける
Crimp along edges ○ - ○ to pull down the head.

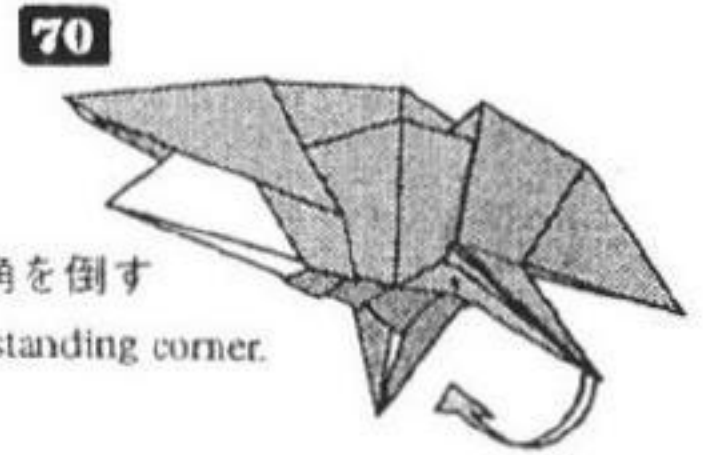


●の角を引き上げて口を開く

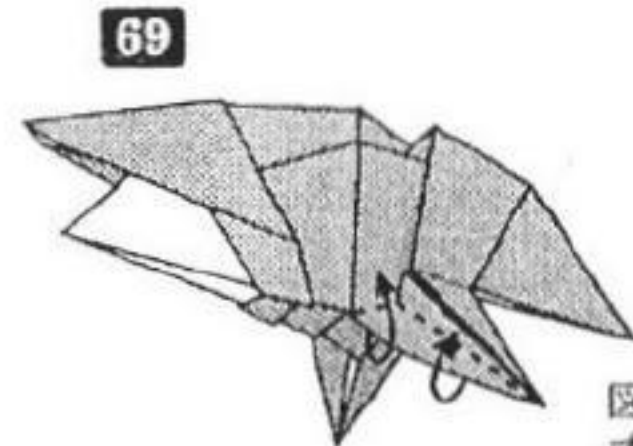
Pull up the marked corner(●) and open mouth.



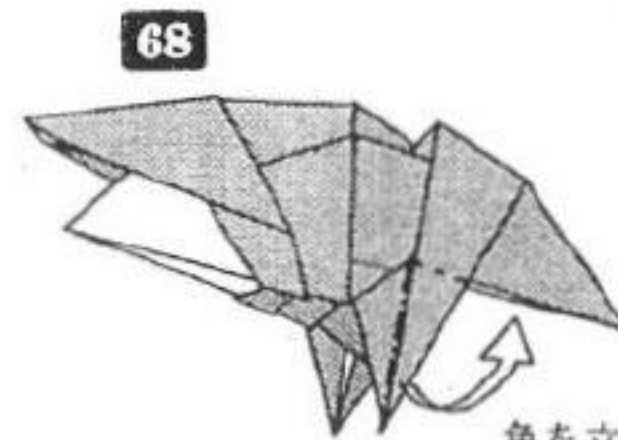
下側の辺を内側に折り込んで上あごを細くする
Fold the edge of upper jaw inside. Repeat behind.



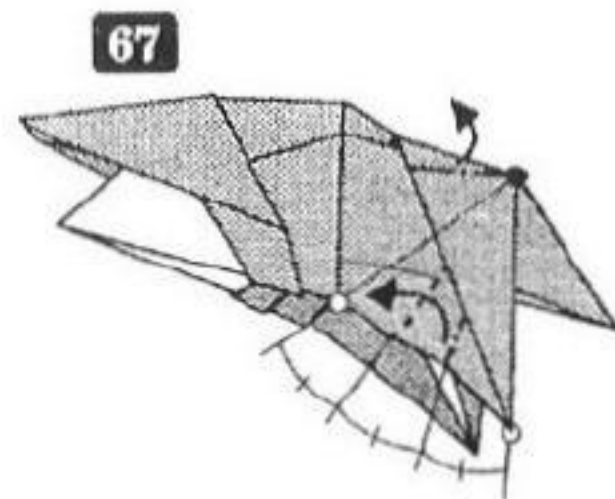
立てた角を倒す
Flat the standing corner.



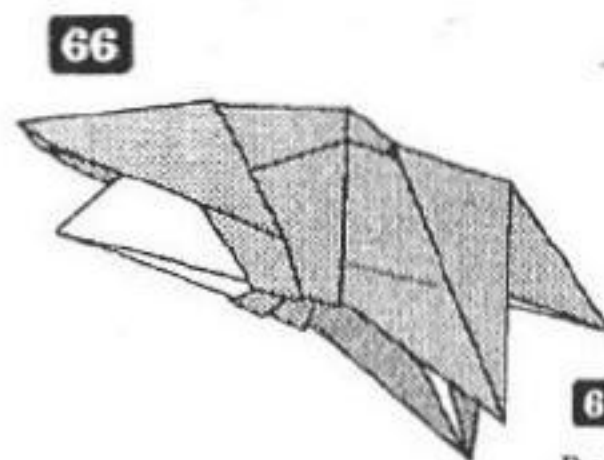
図のように細くするように折る
Narrow the lower layer.



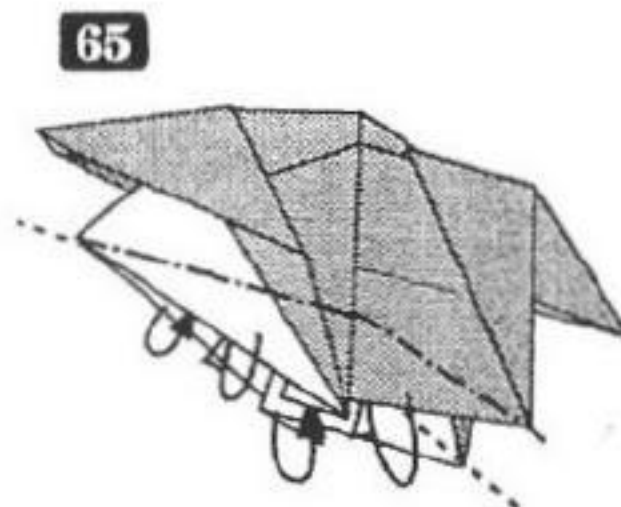
角を立てながら折る
Fold the corner stand up.



○と●の間の角を1/3に段折りしながら上の1枚を折りずらす
反対側も行う
Picat the marked corner (1/3) and turn the top layer. Repeat behind.

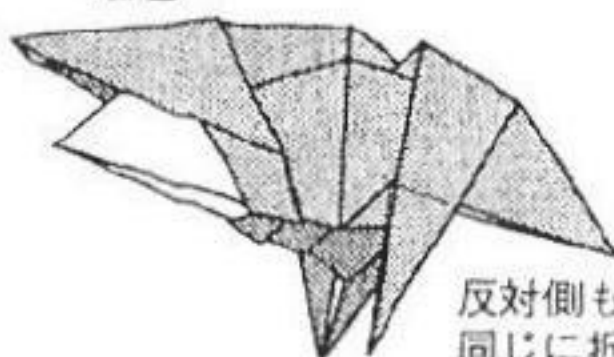


65 を折った図
Result of step 65.



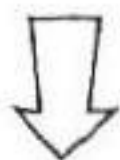
下側の辺を内側に折り込んで下あごと腕を細くする
Fold the edges of lower jaw and narrow the arms.

71



反対側も 67 ~ 70 と
同じに折る

Repeat behind step 67 -
70.



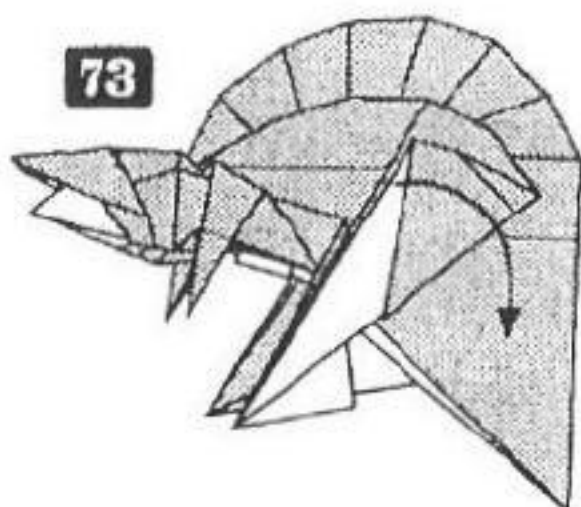
72



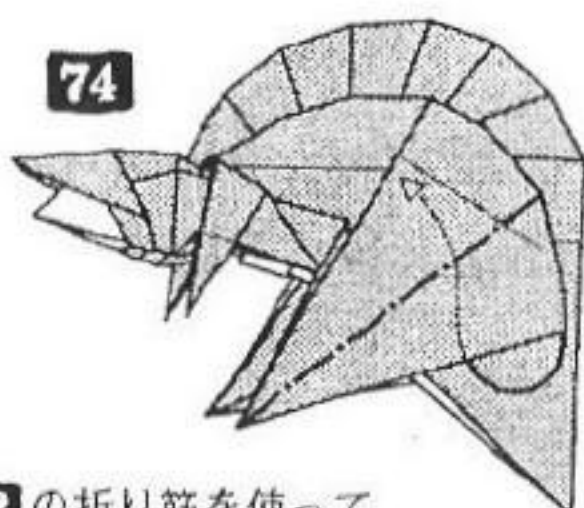
○と○の間を谷折り

Fold to go through marked
corners.

73



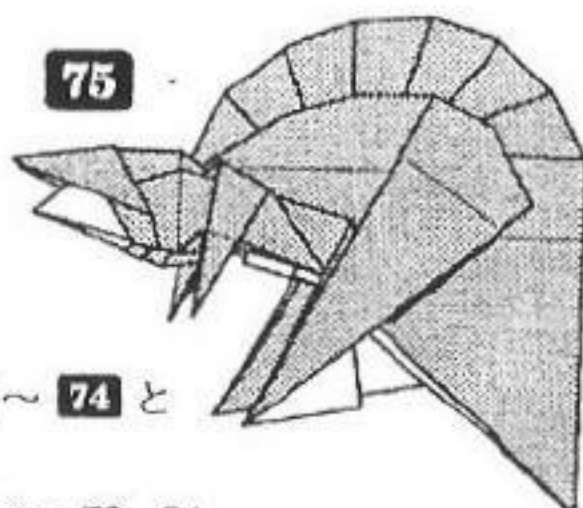
74



72 の折り筋を使って
内側に折り込む

Fold inside using crease
from step 72.

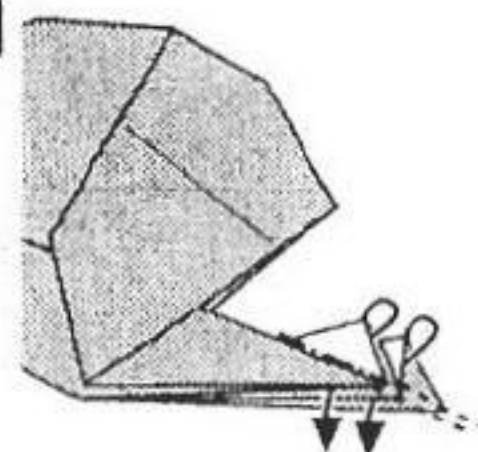
75



反対側も 72 ~ 74 と
同じに折る

Repeat behind step 72 - 74.

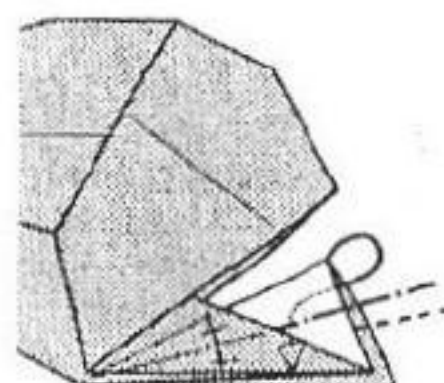
81



辺に沿ってなかわり
折り

Inside reverse along the
edge of upper layer.

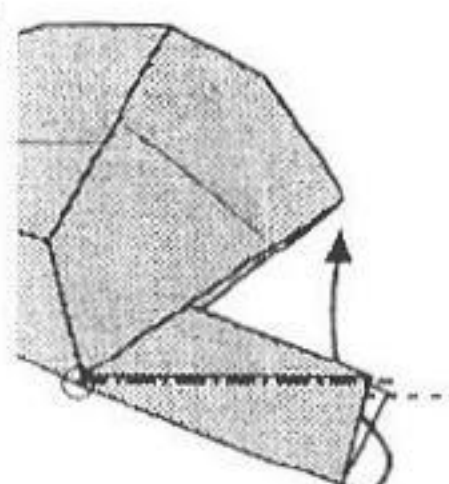
80



なかわり折りした部分を
もう一度なかわり折り

Inside reverse again.

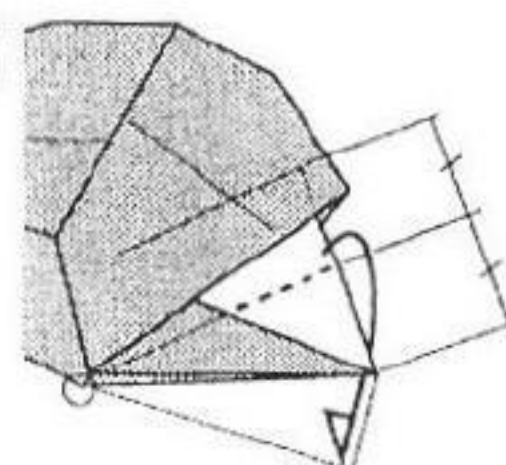
79



上の1枚の辺に沿って
なかわり折り

Inside reverse along the
edge of upper layer.

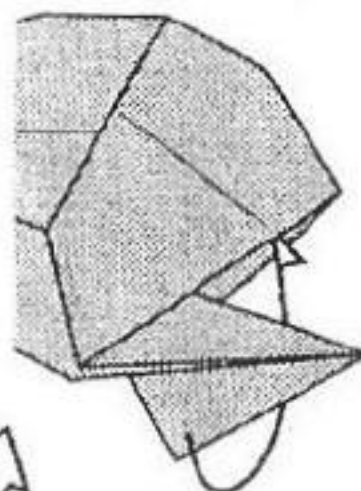
78



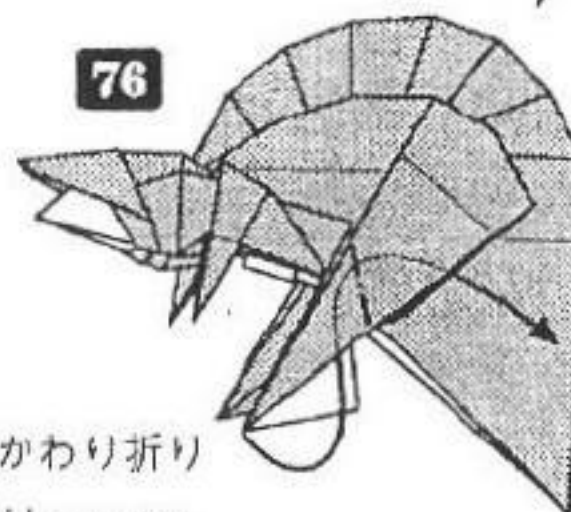
○を中心にずらすように
折りながら図のように半
分に折る

Turn down the flap and fold
the edge in-half.

77

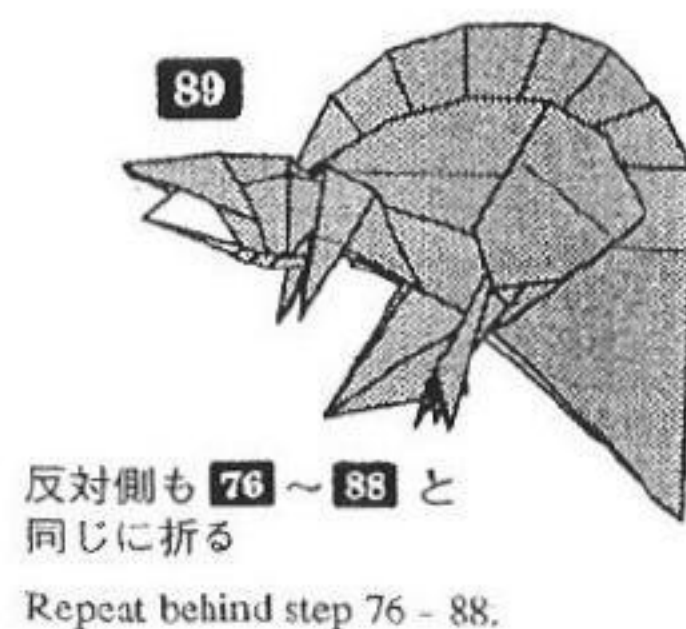
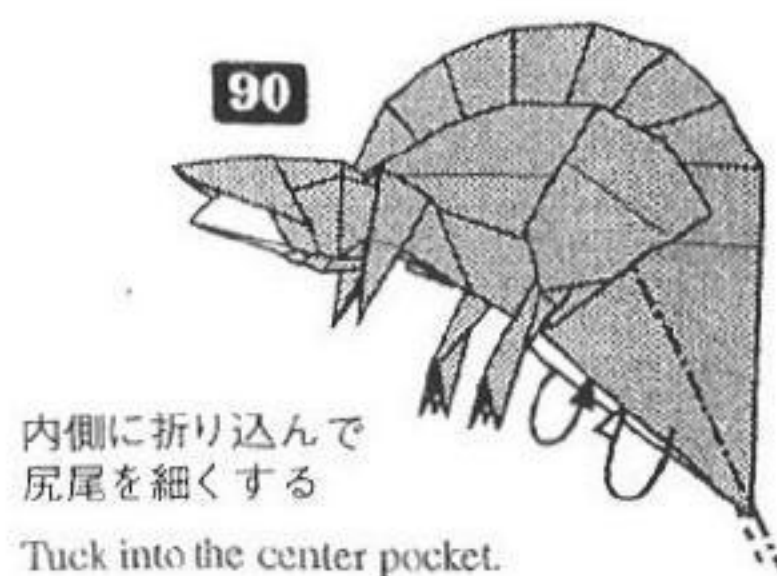
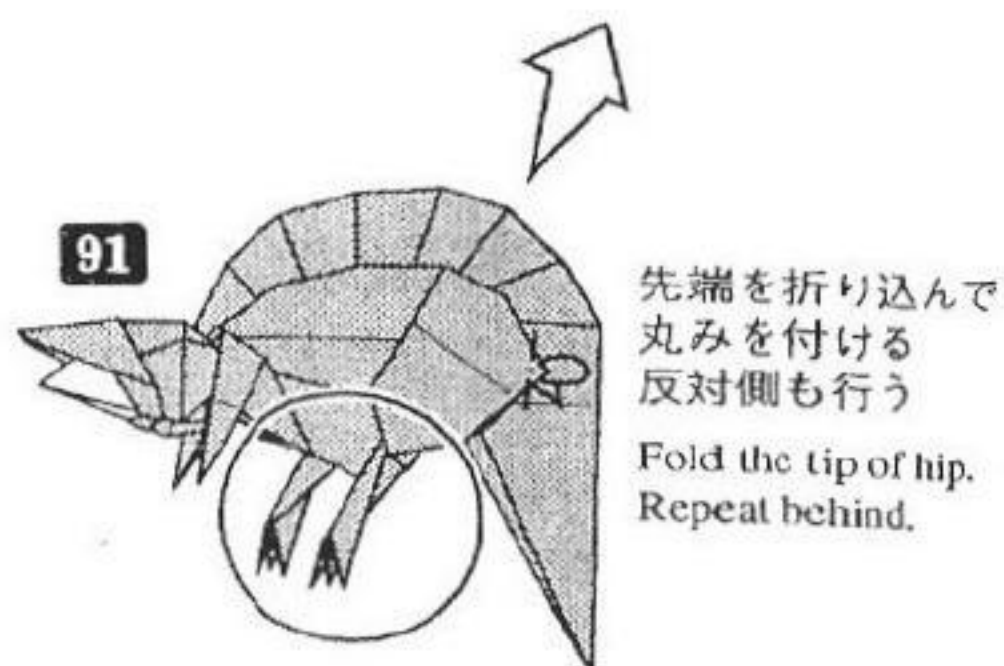
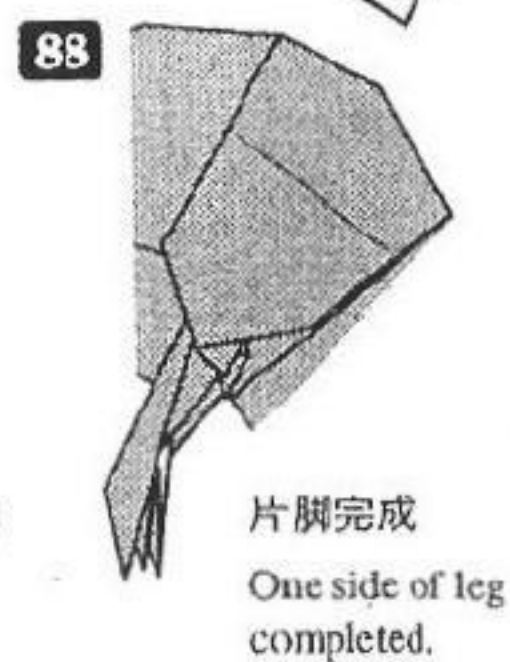
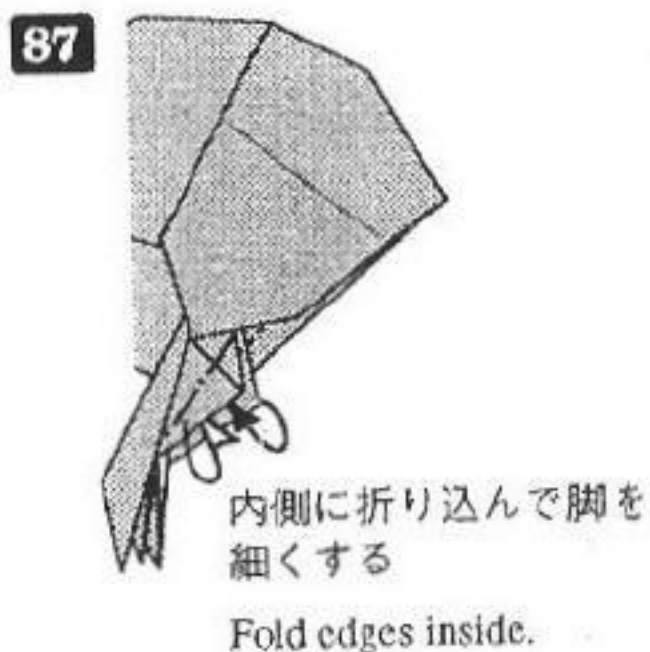
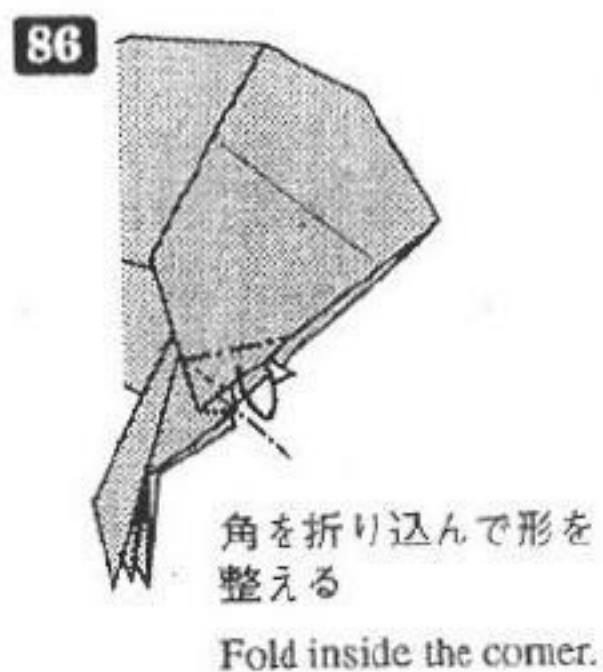
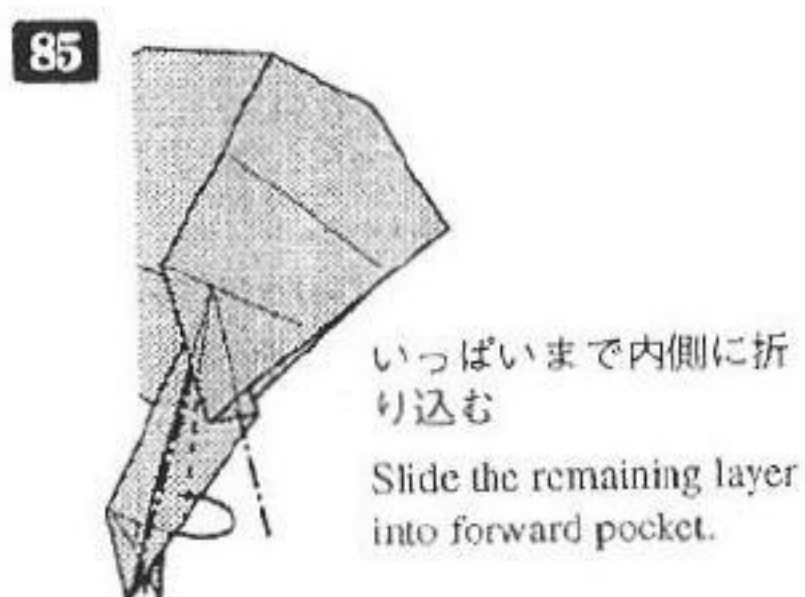
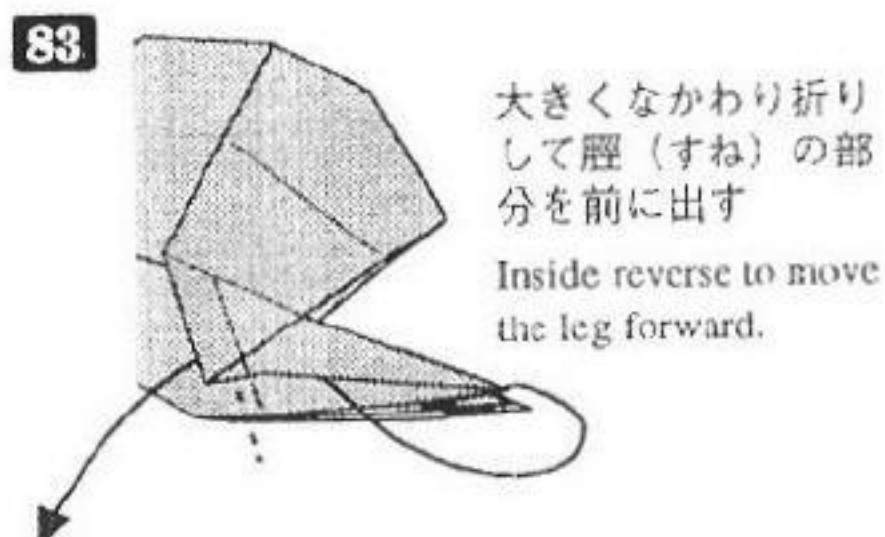
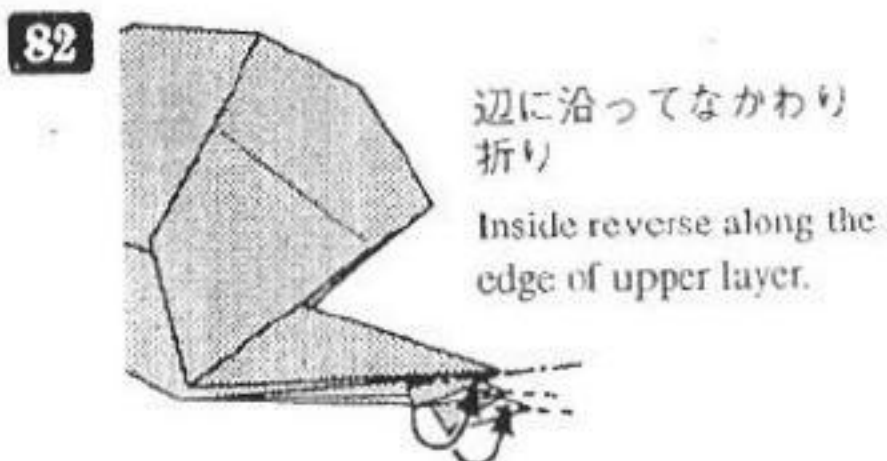


76

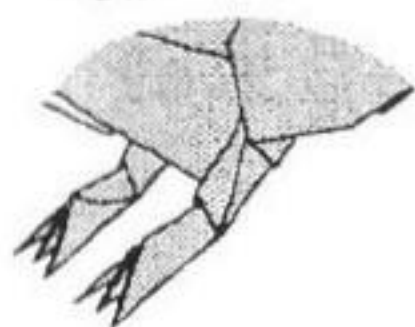


なかわり折り

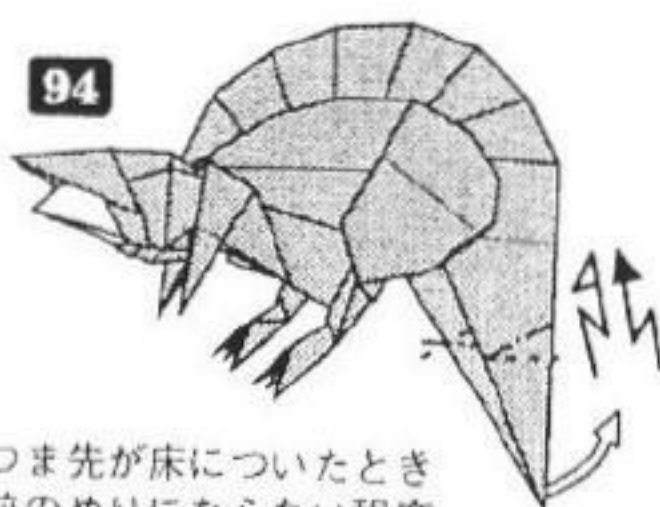
Inside reverse.



93

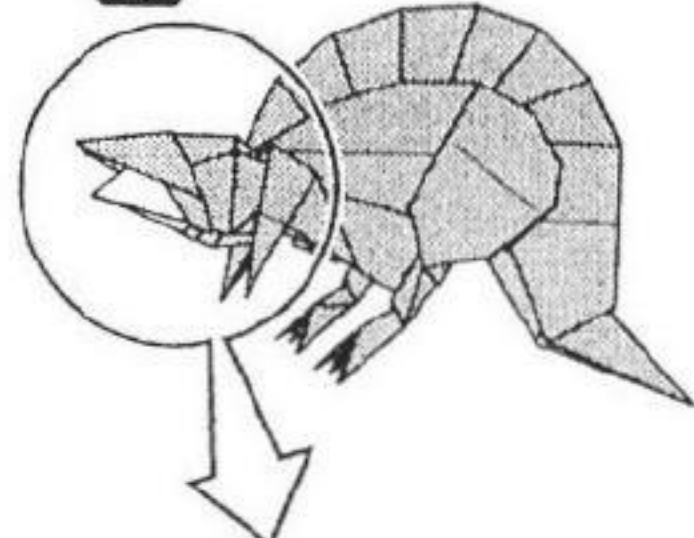


94

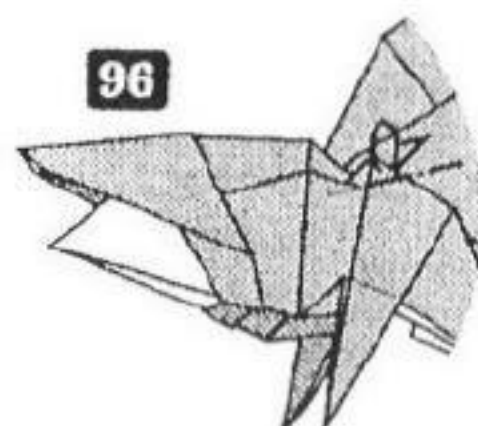


つま先が床についたとき
前のめりにならない程度
に尻尾の先端を折る
Crimp the middle of tail to
support standing.

95

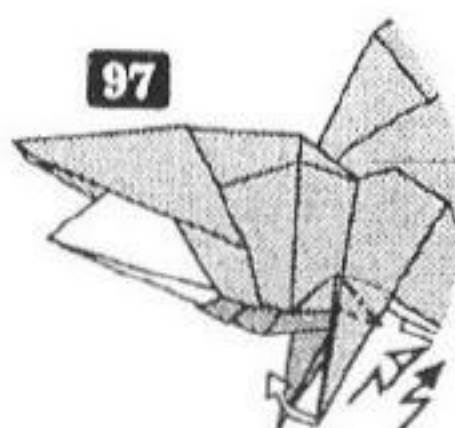


96



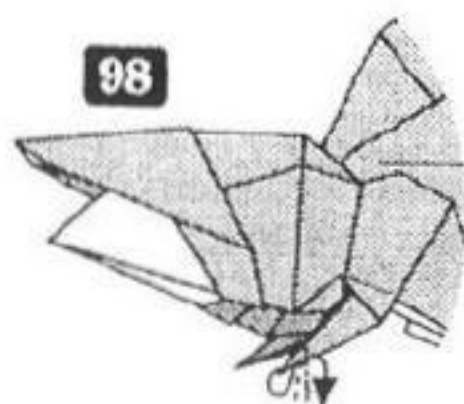
角を折り込む
反対側も行う
Fold the tip of shoulder.
Repeat behind.

97



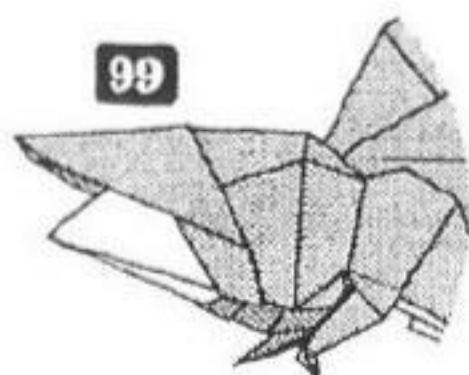
段折りして前方に傾ける
反対側も行う
Crimp the bottom of arm.
Repeat behind.

98



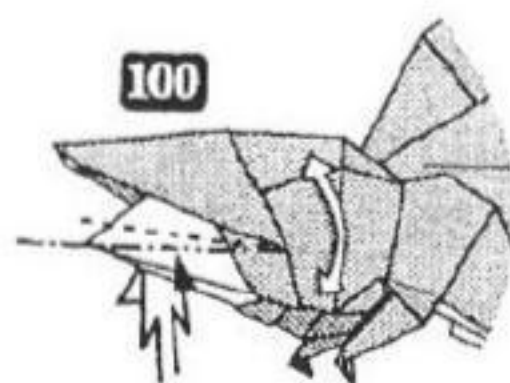
先端をなかわり折り
Inside reverse the tip of arm.

99



反対側の先端も
なかわり折り
Repeat behind.

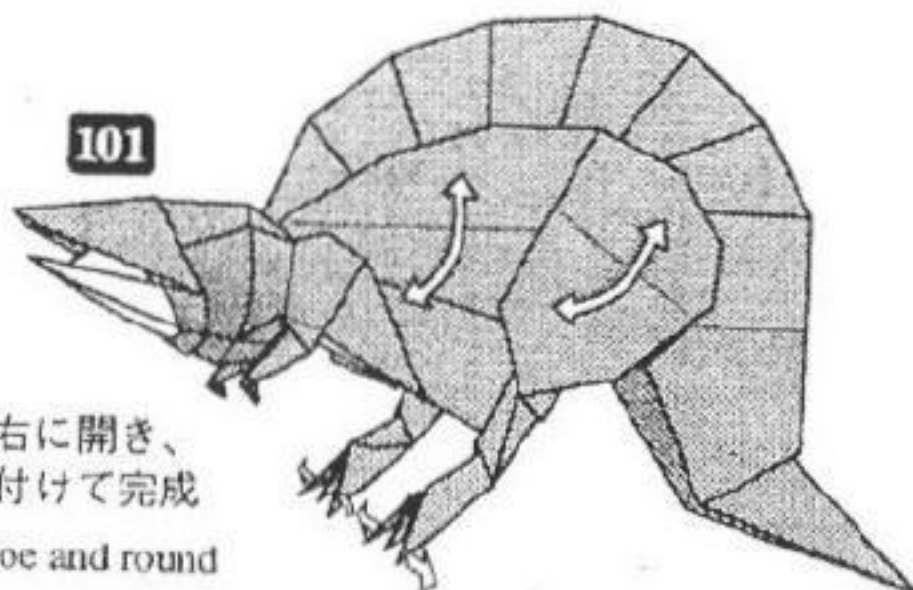
100



左右から段折りして頭部
を左右にふくらませ立体
的に仕上げる
Crimp the under edges of
jaw to make three
dimensional head.

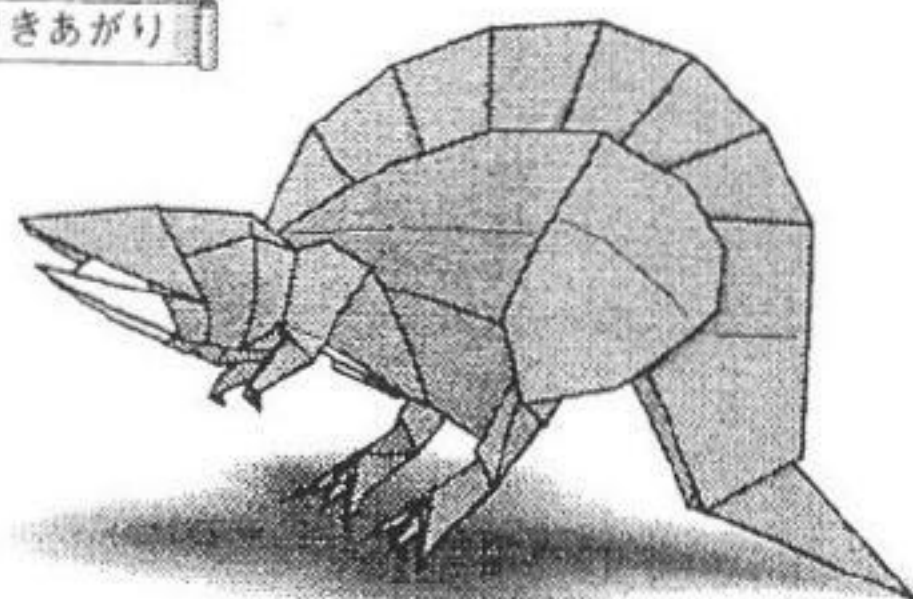


101



つま先を左右に開き、
体に丸みを付けて完成
Open the tiptoe and round
the body.

できあがり



第1回折紙探偵団 コンベンションレポート

ORIGAMI TANTEIDAN
1st CONVENTION TOKYO 1995

報告 前川淳



「紙袋をいっぱいかかえて地下鉄に乗っていると不審尋問を受けないかと心配でしたよ。中から折り紙が出てくることを考えると笑っちゃいますけどね」

「今日は家にじっとしていろって実家から心配して電話があったんです」

地震が起こるだの、毒が撒かれるだの、ゴジラが上陸するだのと言われた4月15日、警官1万人の警戒態勢下の東京。第1回折紙探偵団コンベンションは、そんな状況の東京都心で幕を開けた。折り紙のためならハルマゲドンも恐れじという約130名の参加者は、北は仙台から西は長崎、下は8歳から上は80歳近くまで、いずれ劣らぬ折り紙好きである。休暇をとった会社員、講義を休講にした教授、締め切りの遅れを言いくるめてきた折り紙作家、土日に珍しく早起きしたこのわたしなど、万難を排して集まったひとたちで、文京区民センター3階A号室は2日間折り紙漬けとなった。

その1 前夜

半年ほどまえから探偵団は会合に文教区民センターを借りるようになった。例会に集まる人数が増えたためである。或る日の会合でのこと、他の部屋がふさがっていたのだろうむやみに広い部屋が割り当てられた。部屋の向こうが霧に霞むかというほどの、文京区より広いかと思えるほどの部屋である。「これだけ広いとコンベンションができるな」誰かのもらしたこの一言こそ、今回のコン



美人受付嬢二人。ピンぼけなのが残念である。

ベンションの大いなる第一歩であった。それからというもの、例会の常連がスタッフと名前を変え準備に奔走した。注文してから皿が出てくるまで1時間はかかるカレー屋での

「打ち合わせ」に一番時間がかかったような気もするが、ともかくもスタッフは奔走した。したと言ったらしい。広報、設備、懇親会、プログラムなどなど。かくして、いつのまにかミニコンベンションのミニがとれてしまうほど（そういえば、いつのまにかなくなっている）話は大きくなり、ショウワグリム、クラサワ、トーヨー、中村紙工の各折り紙メーカーや「をる」の双樹社の寄付も取り付け、印刷物もそろい、折り図集も完成し、準備は整ったのである。

マスコットキャラクターはなぜか「悪魔」になった。当日が「Xデー」にあたると知れると、魔除けになるという説も出たが、怪しげでかなわんという声も大きかった。この間、スタッフのひとり近江信一君は「打ち合わせ」に参加し、ひたすら食べつつづけていた。

その2 初日

本位田那穂美さんと佐藤暁子さんのふたりの美女（この点についてのご意見・疑問等は編集部までお寄せください）の受け付けで登録を済ませた参加者の期待は高まる。結婚式の祝辞もこうあって欲しいと思っていたのかどうか、短くて分かりやすい西川団長（婚約中）の挨拶のあと教室への申し込みが始まった。この

日は午後からの3コマだが、布施知子さんの「ビリビリ兄弟」や橋高美保子さんの「タコボン」といった作品の講習はもちろん高井弘明さんの「紙の染色」や目黒俊幸さんの「折り紙設計論」など、バラエティー豊かな内容である。それにしてもビリビリ兄弟とかタコボンとかネーミングのセンスが素晴らしいぞタコボン。これからは、布施さんと橋高さんをビリビリ姉妹と



初日の教室申込み状況。ビリビリ兄弟、花、紙の染色が当選確実。

呼ぶことにしよう、タコボン。8つの講習が並行に行われるので、どれを取るか悩んだひとが多かったと思うのだが申し込みは拍子抜けするぐらい順調に進んだ。順調過ぎて時間をもて余したか見えたが今の日本人にはああいっただよりの時間が必要である。断じて必要である。それよりも、緻密な計算と大胆なシミュレーションを繰り返して作成した完璧なプログラム（笑）を評価すべきであろう。

会場の8つの教室は仕切がなく、岡村昌夫さんと田中稔恵さんのふたりの声がひとときわたかく響いた。教室終了後、岡村さんが「隣の声がじゃまになるかもしれないと心配した



賢明な読者諸氏はご推察であろうが完璧なプログラムを作成したのはこの前川淳氏である。手前には4月15日の東京の水を恐れた川崎敏和氏が持参したミネラルウォーターのピンが見える。

けど、そうでもなかったね」と言っていたのが印象的である。岡村さんの教室はそうだったろうが、岡村さんの隣の教室がどうであったかは鋭意調査中である。布施さんが過労で参加できなくなり、講師代役となったのがひとつ残念なことではあったが、教室は順調に進んだ。この日「ヘビとカエル」を講習した山田勝久さん、全日本物静か青年選手権神奈川代表の彼がしゃべっているところを初めて見たひともちたことだろう。この間、教室受け付けの窓口にあたった近江君は、腹を空かせて懇親会を待ちわびていた。



「これからは なかよしおりがみ やまだです」と語る山田勝久氏と受付の佐藤暁子嬢。またもピンぼけなのがとても残念なので不定期連載漫画家の生原寺志保嬢とならんでグラビアの美少女として掲載することに決定した、今、わたしが。なお、「なかよしおりがみ」については近日中に折紙辞典にて詳しく解説される予定なのでしばしお待ちいただきたい。

その3 初日-懇親会

教室は5時に終了し、6時から懇親会である。懇親会の料理は区民センター地階食堂に依頼したのだが食堂の従業員さんがこう言っていたという。「今日は中止なさるかと思いました」今さらそんな面倒なことをするはずもなく、木下一郎さんの



ダービーの模様。このレースは収益金がなかったため被災地には送れなかった。2番が第1レースの優勝者羽島公士郎君である、と書いてもわかるわけないか。



どこにでもいる平凡なごく普通の手品師、和久敦也氏による怪しげなショー。右の被害者の女性は四国から自転車車で来た尾崎美加江嬢。和久氏はこの日ゴジラ柄のネクタイに森永チョコボールの吊りバンド止めといった地味なファッションでシックにきめていた。

乾杯で開いた宴が進む。アルコールもまわって注意力が失われた頃、探偵団屈指のエンターティナー、側にいると何かごまかされるぞとささやかれる男、セミプロ手品師・和久敦也さんの登場である。関西イントネーションの「超魔術です」に会場がわいた。次のイベントは、山口真さんが個人的な趣味もあって一番力をいれたものである。箱をかぶって手だけを出し目隠し状態で作品の完成の早さを競う競技で、枠の色など細かい設定が「RA」している。「をる」編集部員にして競輪競馬のために川崎に引越した色付き眼鏡のギャングラー、恒成利洋さんの血も騒ぐ。「各馬、一斉にゲートイン」以下略。1日早い卑月賞の勝ち馬は、健康的な笑いをとるさかなの骨(?)こと北條高史君と、第2の羽島こと羽島公士郎君となった。「走れコウシロー」である。いずれも某有名大学の学生で、馬券を買うことのできない学生も馬になれるということを証明した。かくして、ひと騒がせな予言もみごとにはずれて世間も平穏、折り紙やゲームを楽しむ参加者はそんな嫌な話題も忘れて、4月15日の夜は更けていったのである。懇親会の間、近江君が食べまくっていたのは言わずも

がなである。

その4 第2日

教室の申し込みはその日の先着順である。お目当ての教室に参加しようと、区民センターが開く前からひとが集まった。小田急デパートの古本祭り初日の行列もかくやと思わせる(そんなの知らないって? そうですか) この日は午前午後あわせて5コマ、吉野一生さんのバイクや川畑文昭さんのティラノサウルス、山梨明子さんの薔薇のブローチ、芳賀和夫さんの不思議な幾何の世界「オリガミクス」など、お客様の幅広いニーズにお応えする(クレジットカードの勧誘みたいだな)盛りだく



診察を待つ人の行列、ではなくて2日目早朝の受付風景。メガネにショルダーバッグに紙袋、といった典型的日本人海外旅行者が川崎敏和氏。カメラもしっかり持っていた。そのあと田中稔恵氏、加藤美子氏、山梨明子氏となぜか講師ばかりが並んでいる。(私は一般参加者です。川崎)

さんの内容である。これからの折り紙界をになう中学1年生、石原宗典君と神谷哲史君もきっちりと講師をこなした。ここにそのすべてを記すことはできないが、両日で50余種類のそれぞれの教室、それぞれの楽しみがあったことだろう。この日用意されたなかなかの味の弁当、都合でひとつ余ったが、言うまでもなくこれは近江君が食べた。



左は本文中ですっと食べ続けていた近江信一君。やはり食べている。右はコンベンション前日に「段ボール折り」という新分野を開拓した羽島公士郎君。目立たないが実は彼もよく食べる。

「完璧な作品と完璧な折図による完璧な講習を実現した」と大言壮語する石原宗典君。彼の最初の折図は西川誠司、吉野一生両氏が二人がかりでも手も足も出なかった超難解折図である。「コンベンション折図集」にも収録されているので、読者諸氏の果敢な挑戦をお待ちする。



そして、オークション。雑誌「おりがみ」のバックナンバー、Origami USAのTシャツ、意味不明の胡椒入れなど、売り上げは約4万円となった。これは、他のものとあわせて関西大震災の被災者に送られる。

こうして、折紙探偵団第1回コンベンションは盛況のうちに幕を閉じた。構想6ヵ月、述べ参加人員260人、「世界都市博覧会」よりも有意義な（一部消息筋）催しであった。

その5 その後

会場の片づけも終わり、スタッフなどで簡単な打ち上げが行われた。

そこで、今回初めて探偵団に参加した或る人物の実像が明らかになった（うすうす気付いてはいたが）そのプロフィールを是非報告しろという意見が多いので、ここに記すことにしよう。その人物とは、今号からの巻頭論文の執筆者、富山大学教授・鈴木邦雄氏である。何もせずに立ってれば、テレビドラマで女学生から告白される役どころと言ったらいいだろうか、いかにも教授といった風貌である。しかし、きっちりと着こなしたスーツにコンベンション特製の悪魔のバッチをつけ、ネクタイに川崎さんの薔薇を貼りつけ、ネクタイピンに川畑さんのアノマロカリス（古生代の節足動物）を挟んで嬉しそうにしていると、「針」は変人の方に大きく振れる。「紅梅キャラメル」（何だそれ？）の話で山口さんとふたり勝手に盛り上がりして何だかよく分からない。ケン玉も得意で、上級技「うぐいす」を3回連続成功したとのことである。ケン玉に関してはわたしも少々心得があるので、いずれ勝負をしたい。またまた魅力的な人物が加わって折り紙の世界を広げてくれる。楽しみだ。ちなみに、近江君は打ち上げにも出席し何かしら食べていた。

ではまた次回

右から鹿を講習する川畑文昭氏、鈴木邦雄富山大学教授、中学生講師神谷哲史君。鈴木教授は本文中の風体のままで無事に富山に帰れたらしい。一都民として警視庁の治安維持能力に一抹の不安を覚える。



このレポートは、会場で回収したアンケートの結果も見ずに書いている。木村さんの言じゃないけど、「二度と行かない」に丸をつけたひとがいまませんようにと思いつつ報告を終わる。参加したくても参加できなかったひと、地理的・時間的・ハルマゲドンの条件のためにそうなったひと、次回はいつどこになるかは分からないが、是非参加を！ 千葉ロッテマリーンズと同様に「早くも、来年に向けての準備が始まって」います。

（写真のコメントの文責は木村良寿ですが、おわびはしません、今さら。）

みなさま楽しんでいただけましたでしょうか？

コンベンション スタッフからのご挨拶

楽しかった。あとからあとから同志が湧き出てくるような興奮を感じました。

岡村

教えることによって、こちらが学ぶことが多かったです。次回は、もっとうまく教えるようになれると思います。高井ごく普通の手品師であるにもかかわらず、とんでもない事をやってしまいました。

和久

おばさん達にはちょっと無理かなーと思いつつ、参加者の「良かった」の報告に胸をなでおろしています。

本位田

むずかしい作品を教えた方がやりやすかったです。

山田勝久

今回は準備不足もあってきちんとした教室にできませんでした。反省、反省。

Na

あっと言う間の2時間、あっと言う間の2日間でした。

よしの

折図なしでその場でいきなりするのはやっぱり酷だったかもしれない。かと言って次回はちゃんとしてるとは限ら…スイマセン、なんとかします。まぐろの骨

アライグマを50分で教えるなんて無理だよー。でもバラが終わらなかったのは私のミスです。

段ボール

私は生徒をやって講師の足をひっぱりました。

めし

ちょうちょが空を飛ぶ理由は、実は、…だったんです。とうとうバれてしまった。

近江信一 おうみしんいちである。おうみしんりとはよまないこと。

ひたすら記録をとっていました。編集

が大変だー。

3台のビデオ

幸い、アンケート回答者66人中「二度といかない」と答えた人は一人もいませんでした。今回の会場はおおむね好評でしたので、来年（になると思う）も文京区民センターで開催する事になりそうです。参加者約130名中40人以上の人が（少なくとも5期までは）探偵団員ではなかったのは意外でもありうれしい事でもありでした。

会計に関しては折紙メーカー各社の方々が用紙を寄贈してくださったおかげで赤字にならずに済みました。

木村

株式会社クラサワ様
ショウワグリム株式会社様
株式会社トーヨー様
中村紙工有限会社様
株式会社双樹舎様



今回、上記の各社の方々に多大なご協力をいただき、幸いにして第1回折紙探偵団コンベンションを成功裡に終わらせることが出来ました。

我々スタッフ一同謹んで感謝の念を述べさせていただきます。

おりすじ

魔女屋敷で見た夢

飯沢秀幸

その1 動機

入会の動機(入信の動機に非ず)
それは誤解からでした。

はじめてハウスに来た日が例のM・M。昆虫戦争で盛り上がっている最中でちょうど前川さん目黒さんらが、新作の「飛ぶカブトムシ」等をもってみえたのです。これを早トリし探偵団のこれが例会で毎週こんな事をしていいると思ひこんだ私はとんでもない人間の集まりだと感心し「自分にはついていけないけど人の作品を毎回見るだけでも刺激を受けて門前の小僧じゃないが他力本願で上達するのは」と入会したのですが、事実は例会は月1回で内容も殆ど飲み会であったとは、でも、これもけっこうよくて、だいたい飲みながら折り紙の話しを出来る相手にお目にかかったのは生まれてこの方このメンバーくらいですものねえそんなフケでは毎回来ては飲んでだべりつづけています。

そして、1年数ヶ月たち、はじめて来た時に複合作品にあった偏見が吉野さんのスケルトン等で向こうの山にとんでいった。設計の作品は誰が作っても同じようになると思い凝固していたのがそれぞれの個性・作風が表に現れるものだとわかりとけて流れたり。電脳による折り図が思っていた以上に浸透していたこと等々。

折り紙の見方もかわり、入会はゴカイでもコウカイせずに今日に至っています。

その2 息切れ

どうきとくれば次は息切れと言うわけで(紙面の半分で書き終わってしまった、日頃あまり書かないからなあ)ちょっと蛇足ですが、自分の日常で折り紙にはほんのすこし関係のある事をつけたします。

蛇足1 魚の骨はカレー味

白山の通称「遅いカレー屋」で自作

の「魚の骨」をテーブルの上においてたところ皿とナプキンと一緒に下げられ手しまう、・・・悲しい。ウェイトレスの目が悪いのかそれとも?

数日後、文京区民センターにてやはりテーブルの上においてたらSさんに「背鰭つきの魚ですか」と言われる背鰭でなく骨なのに、・・・悲しい。

作品に問題があったのか!と今頃気づくわたしでした。

蛇足2 夢の折り紙 (夢といっても寝るときみるゆめです。)

久しぶりにみたゆめは、料理の鉄人で対戦する夢で相手はなぜか周富徳、私の作品はカレー(実物の料理でなく折り紙作品)皿とライスは紙の裏でカレーは表で折りだしたもので、方や、周さんはラーメンのどんぶり(どんぶりのみ、これも折り紙)で雷文に底には店の名前入り、どうみても2色以上でている抗議しようとした私を制して周さん曰く、「君はあまい!」とそのどんぶりを開き始めた。

両手いっぱいひろげた紙は両面市松模様の4色刷りであった。

蛇足3 AKUMAのAKUMU

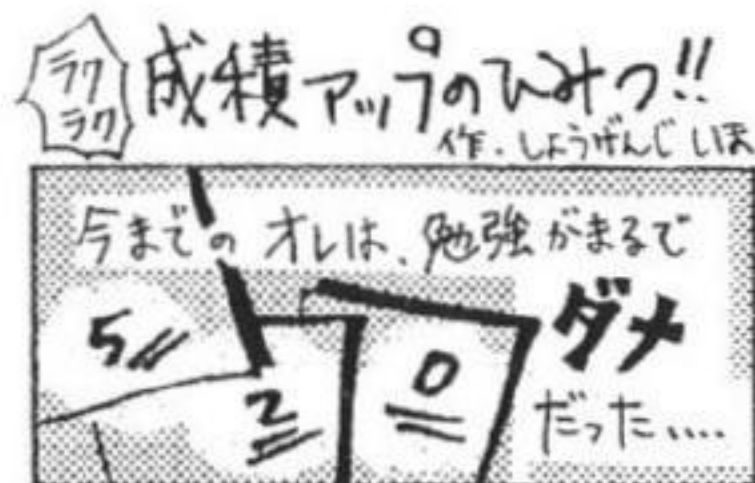
また、夢の話です新撰組に追われる夢で、周富徳が近藤勇になってやってくる、逃げる私がふと気付くと5、6才の少女が紙を折っている良くみると前川さんの悪魔だ江戸時代になんで悪魔がとそのお下げ髪の女の子は前川さんの顔をしていた。・・・髭も生えていた。

蛇足4 蛇足の補足

蛇足1以降「魚の骨」を折らなかった私は、折り方をすっかり忘れてしまった。・・・大変悲しい。

蛇足2は寝る前にみた「山折り折り太」のせいかもしれない。

蛇足3は結果が怖いので夢判断しないように。



さあ、君も今すぐ「ポスト」へ!!

新刊書紹介

第1回折紙探偵団

コンベンション

[折り図集]

第1回コンベンションのキャラクターである[悪魔]をはじめ、とぶカブトムシ(以上前川)、「をる」の表紙を飾ったヘビを喰うカエル(山田)キングギドラ(木村)

T-rex(川畑)、セットン(西川)、虎(吉野)等30種あまりの作品を紹介。

B-5版

112ページ

定価1000円

(送料240円)



折紙探偵団定期会のお知らせ

■5月27日文京区民センター2F 1:30~9:00頃まで

発行・折紙探偵団

〒112 東京都文京区白山5-36-7

ギャラリーおりがみはうす内

Phone (03) 5684-6040

発行人・西川誠司

編集人・岡村昌夫